

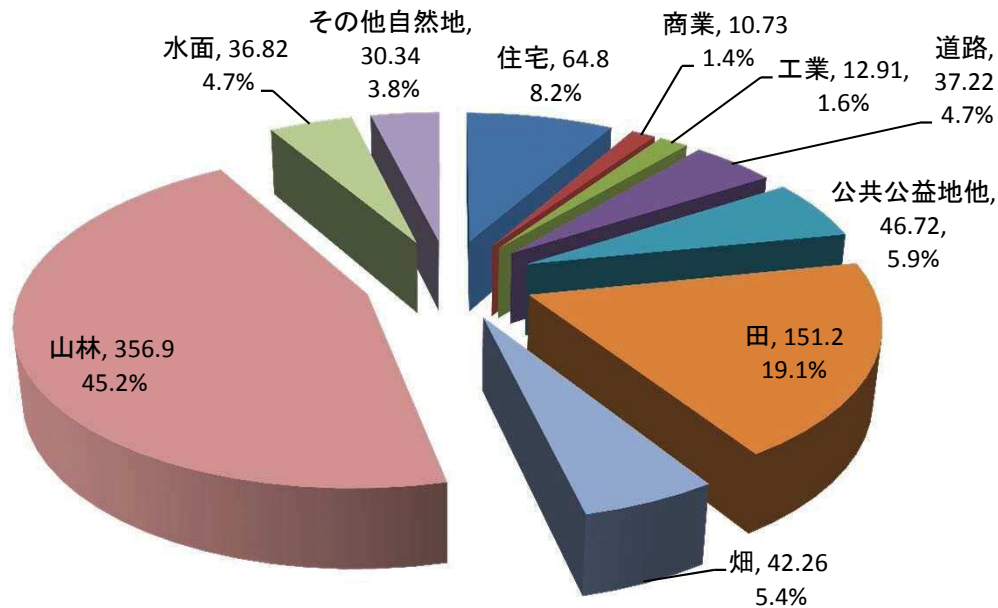
平成27年度
第1回基本政策審議会資料

～岡山の活力の創造と調和のとれた都市づくり～

②都市・交通

- 全市域面積の約78%を山林や農地等の自然的土地利用が占める。
- 市域全体の約74%が都市計画区域に指定され、そのうち約13%が市街化区域。

市域全体の土地利用現況面積と割合(面積(km²)、割合(%))



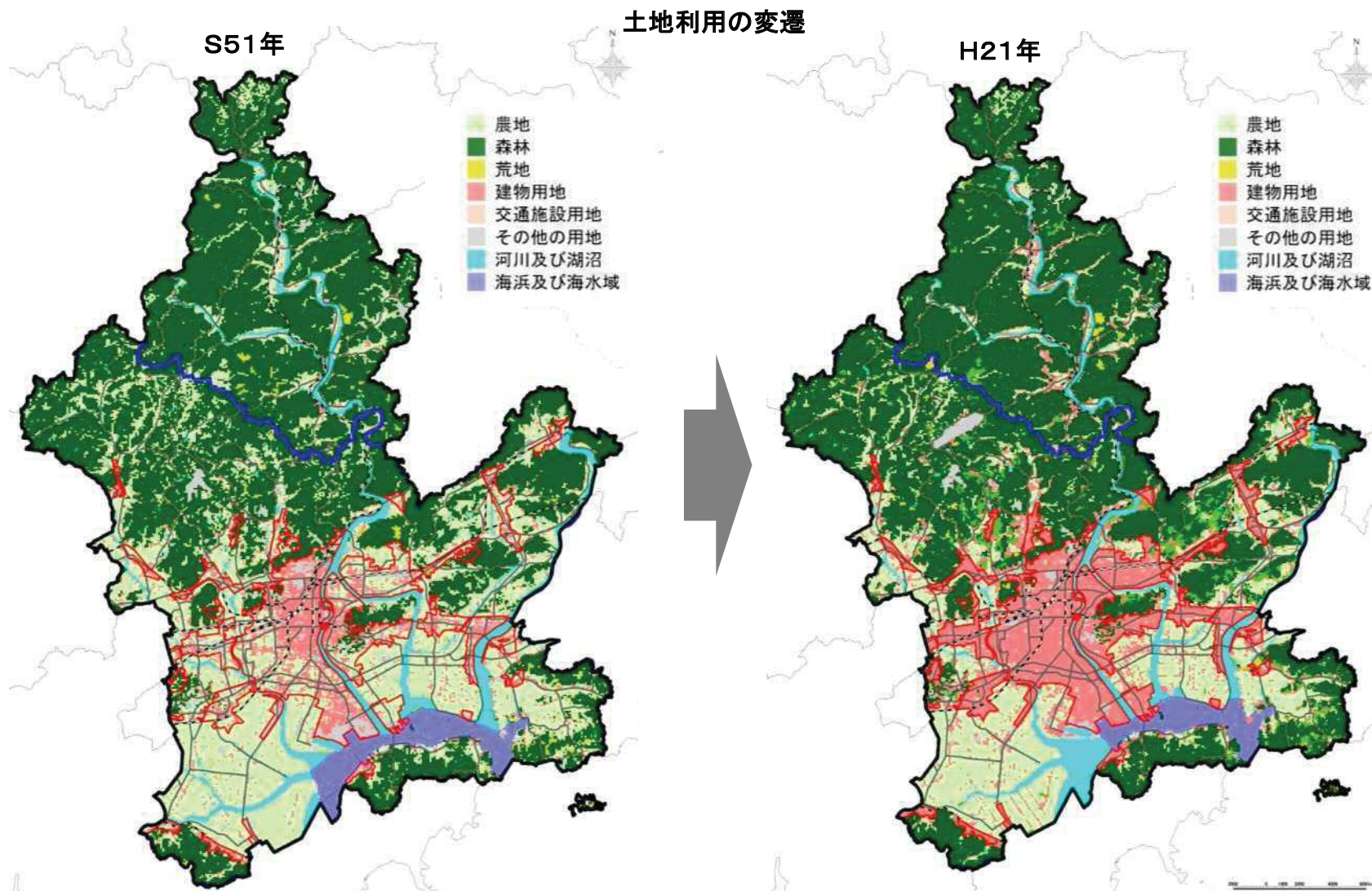
都市計画区域等の面積

	面積(km ²)	割合(%)	
都市計画区域	585.97	74.2	
都市計画区域内	市街化区域	103.88	13.2
	市街化調整区域	482.09	61
都市計画区域外	203.95	25.8	
市域全体	789.92	100.0	

資料: 都市計画おかやま資料集2010
国土地理院HP 平成23年 全国都道府県市区町村別面積調

市街地の広がり(S51-H21)

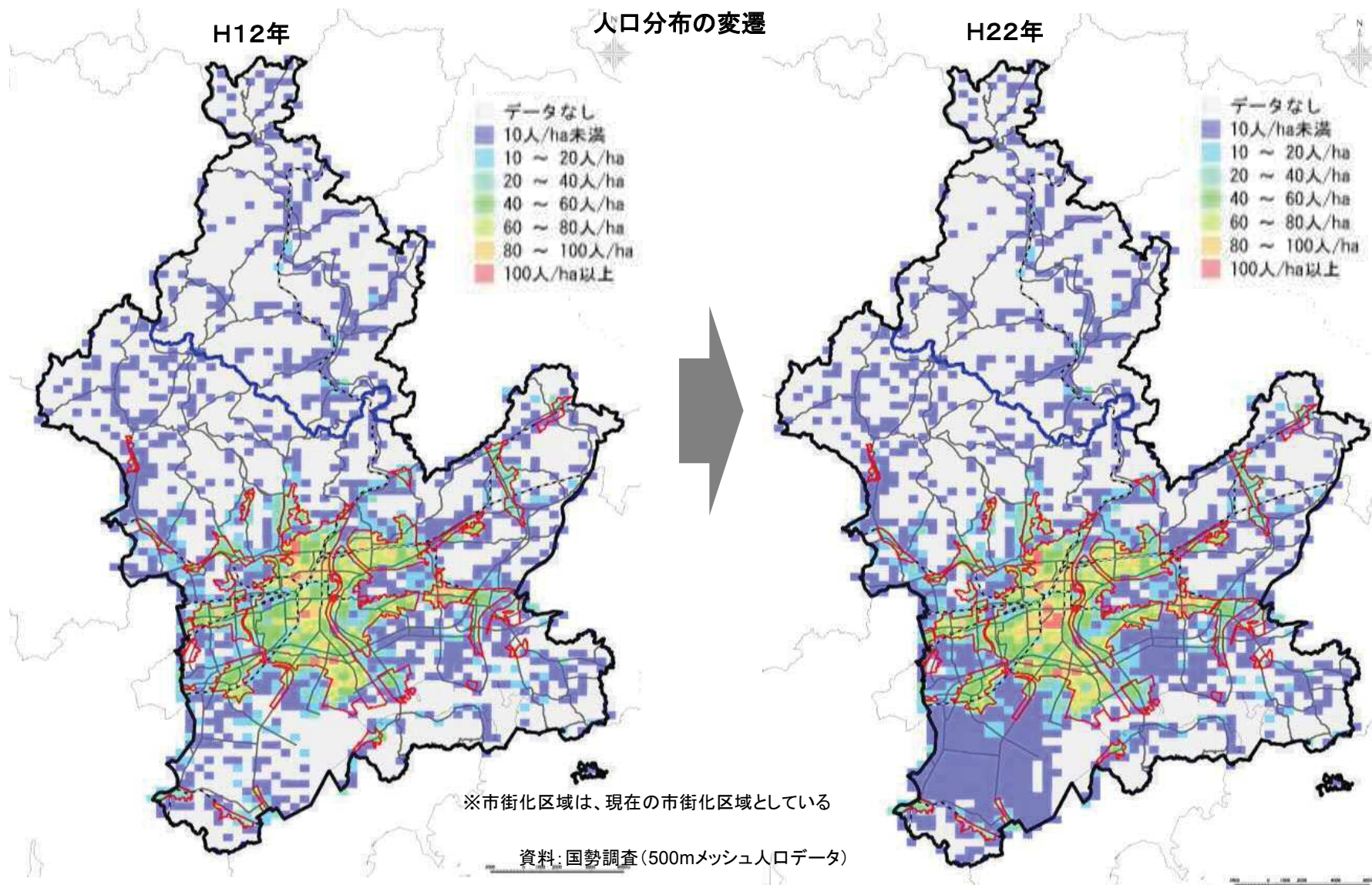
- 人口の増加に合わせて、市街地(建物用地)が拡大。
- 都市計画法に基づく市街化区域(線引き制度)が、無秩序な開発に対し一定の歯止め。



資料: 土地利用3次メッシュデータ(S51の市街化区域は現時点)

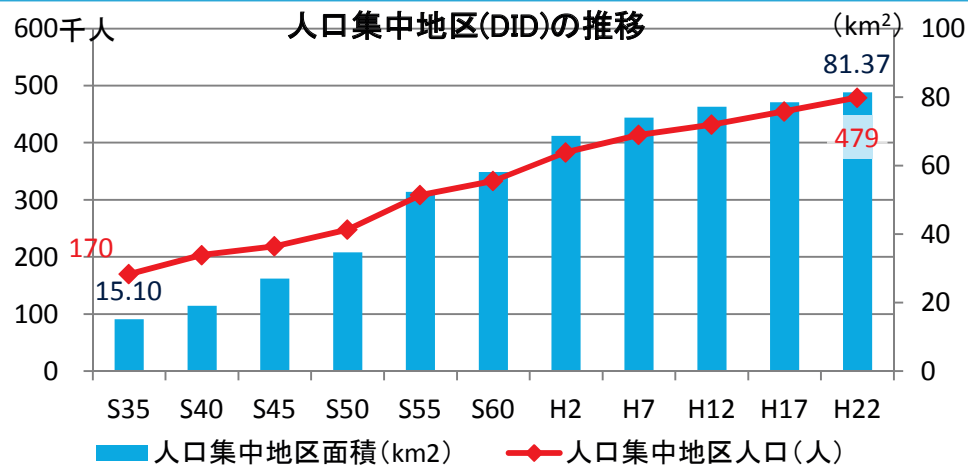
地域別人口(国勢調査H12-H22)

- 近年では、都心への人口回帰も見られる。
- 一方、市街化区域の外縁部(市街化調整区域)での人口の増加も一部の地区で見られる。

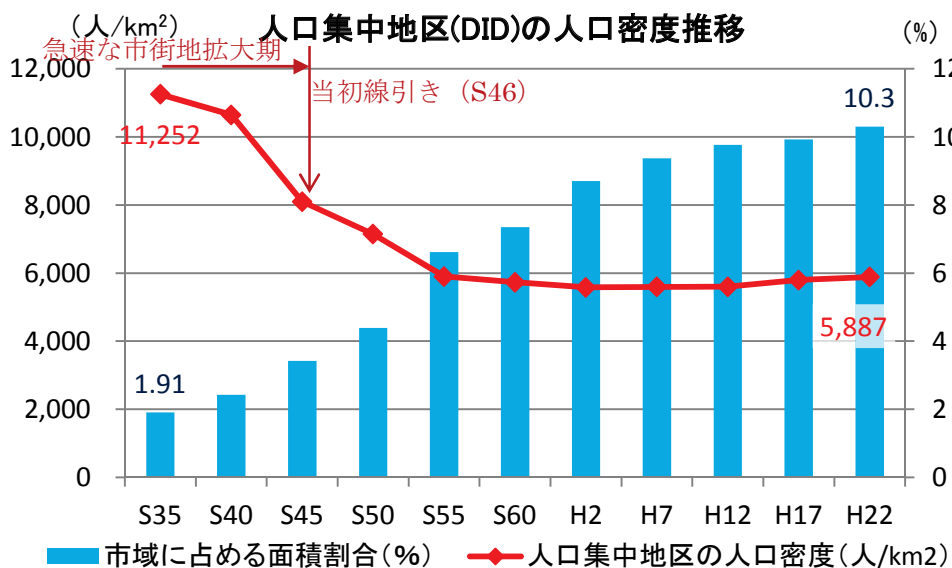


人口集中地区(DID)の人口密度

○昭和45年ごろまでの高度経済成長期において急速に市街地が拡大し、無秩序な市街化の抑制を目的として、昭和46年に市街化区域と市街化調整区域に線引き。
 ○その後、人口集中地区は、ほぼ一定の人口密度(6,000人/km²弱)で推移している。



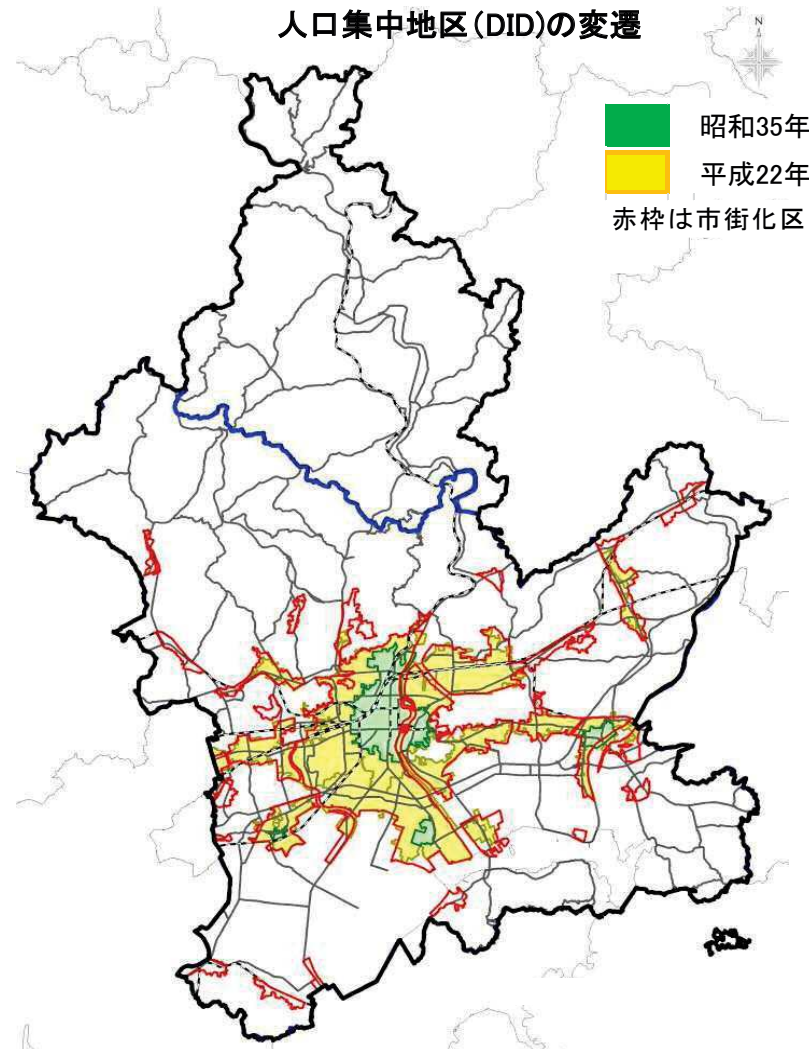
資料: 国勢調査 ※人口集中地区面積は現市域内の数値(西大寺、妹尾を含む)



資料: 国勢調査 ※面積割合は現市域面積(789.96km²)に対する割合

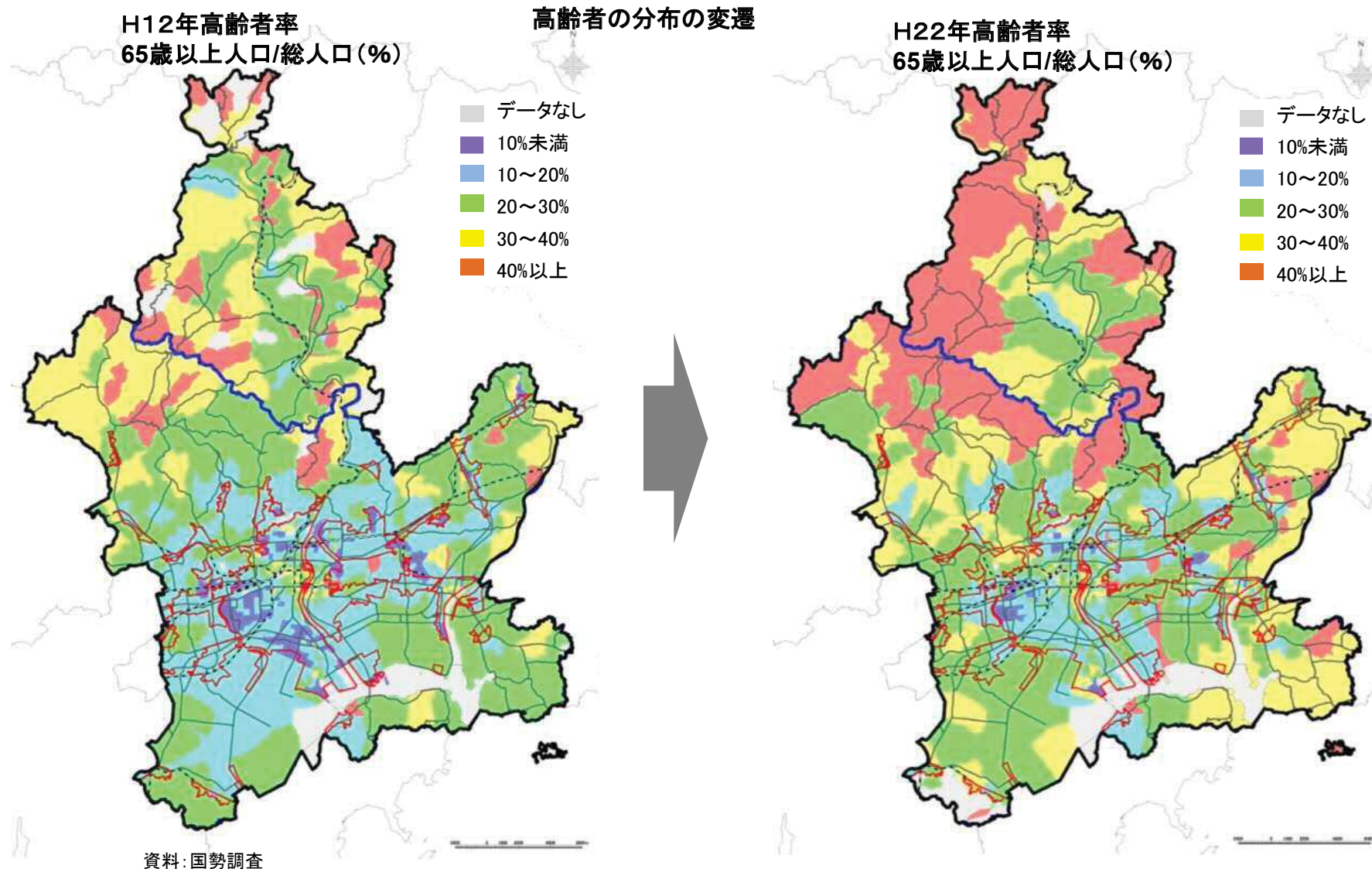
※人口集中地区(DID)とは、人口密度4,000人/km²以上の国勢調査区が、隣接して人口5,000人以上を構成する地域

人口集中地区(DID)の変遷



地域別(町丁目別)高齢化率の推移(H12-H22)

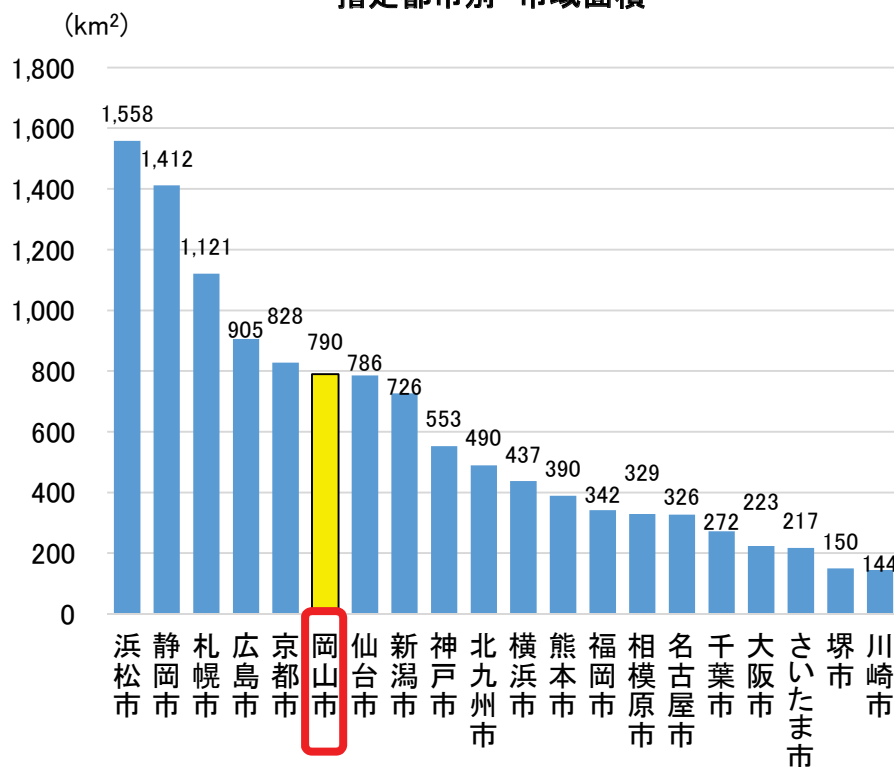
- 平成12年から平成22年にかけて、高齢化は全市的に進行している。
- 特に市域の縁辺部では、高齢化率が40%を超えるなど、高齢化の進行が顕著である。



指定都市別 市域面積、市街化区域面積

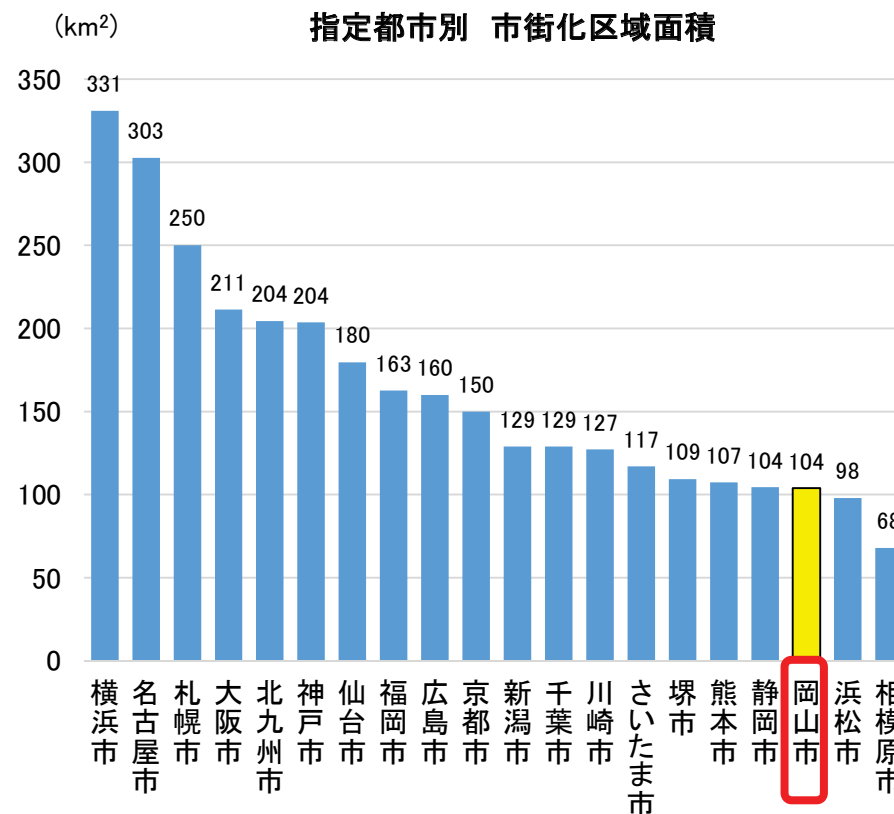
○岡山市の市域面積は790km²であり、静岡市、札幌市、広島市、京都市に次いで6番目に広い。
○岡山市の市街化区域面積は104km²であり、相模原市、浜松市に次いで3番目に小さい。

指定都市別 市域面積



資料:大都市比較統計年表(H24)

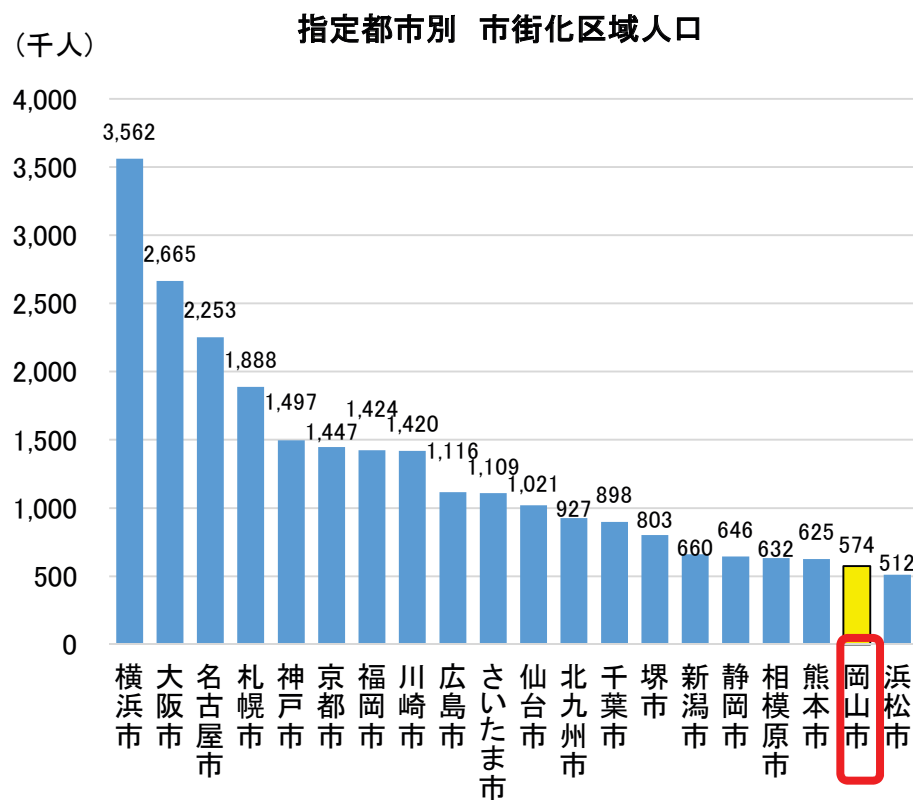
指定都市別 市街化区域面積



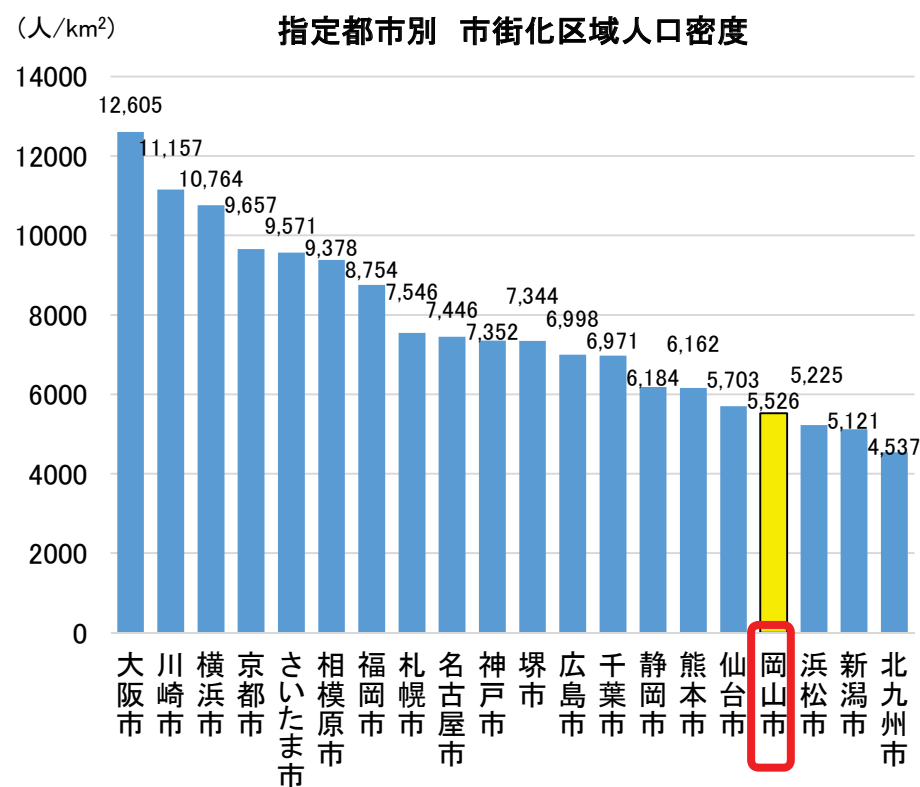
資料:大都市比較統計年表(H24)

指定都市別 市街化区域人口、市街化区域人口密度

○岡山市の市街化区域の人口は57万4千人であり、指定都市の中で浜松市に次いで2番目に少ない。
 ○岡山市の市街化区域の人口密度は5,526人／km²であり、北九州市、新潟市、浜松市に次いで4番目に市街化区域の人口密度が低い。



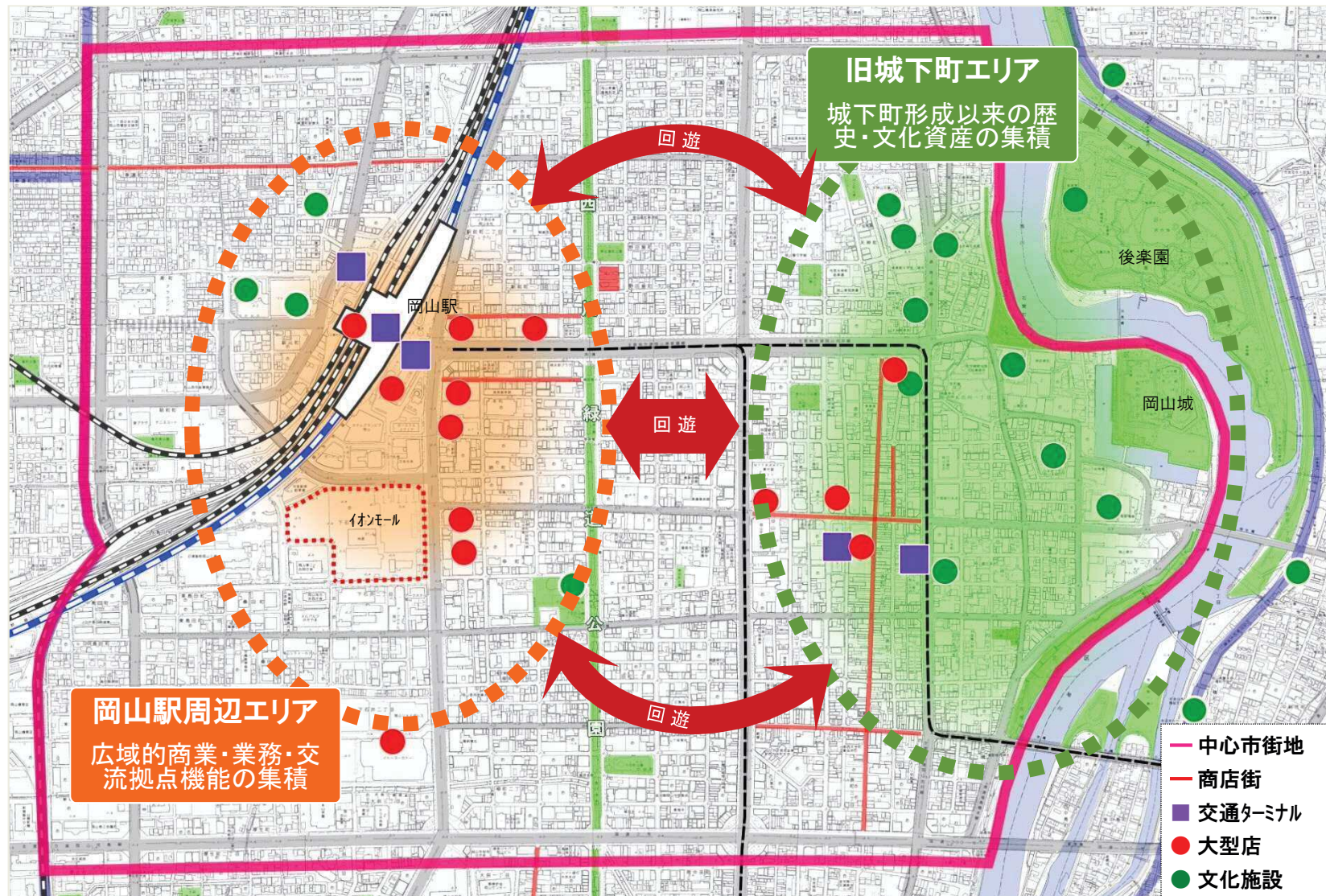
資料:国土交通省「都市計画現況調査(H25)」



資料:国土交通省「都市計画現況調査(H25)」

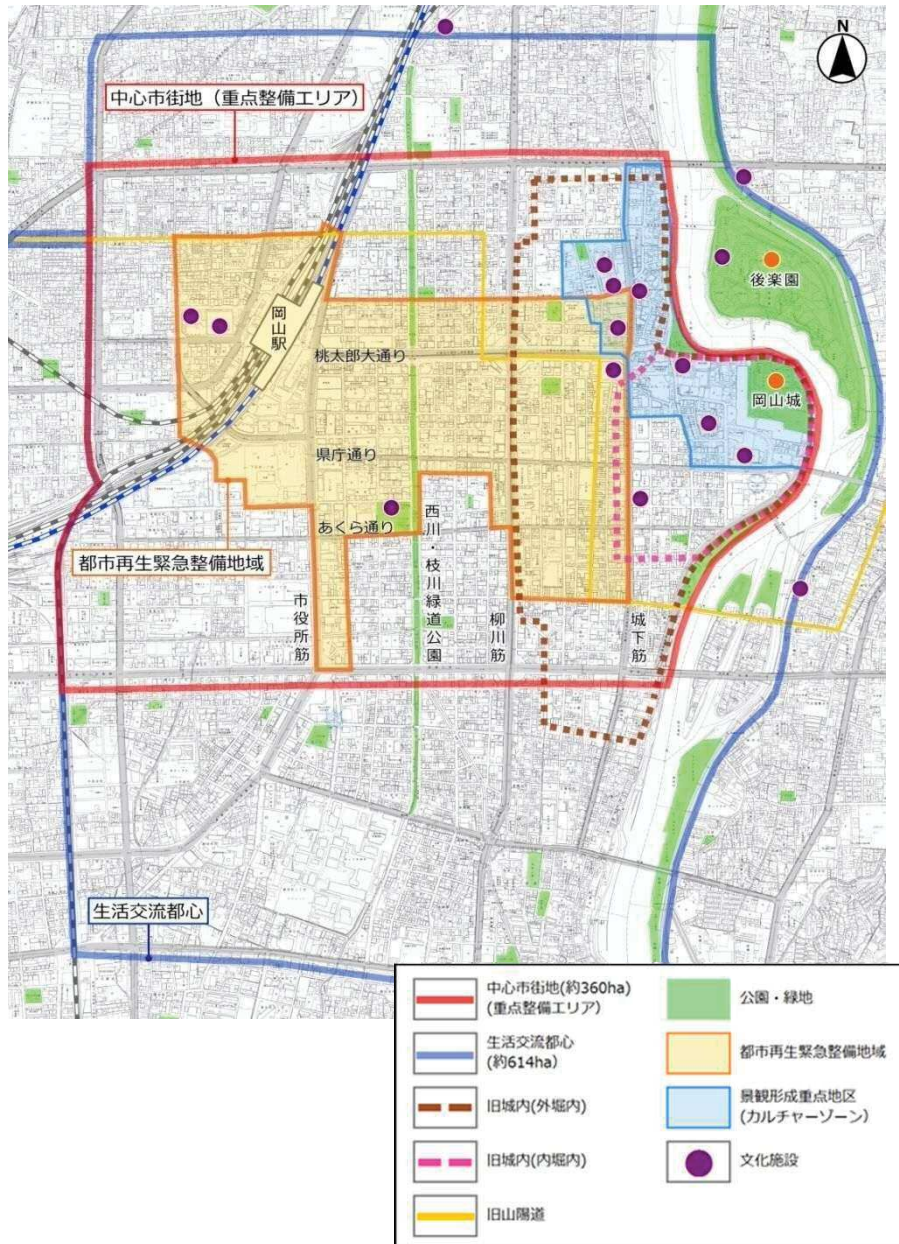
中心市街地のゾーンニング

○岡山市の中心市街地には、広域的な商業、業務、交流拠点機能が集積する「岡山駅周辺エリア」と城下町形成以来の歴史・文化資産が集積する「旧城下町エリア」の2つのにぎわいの拠点がある。

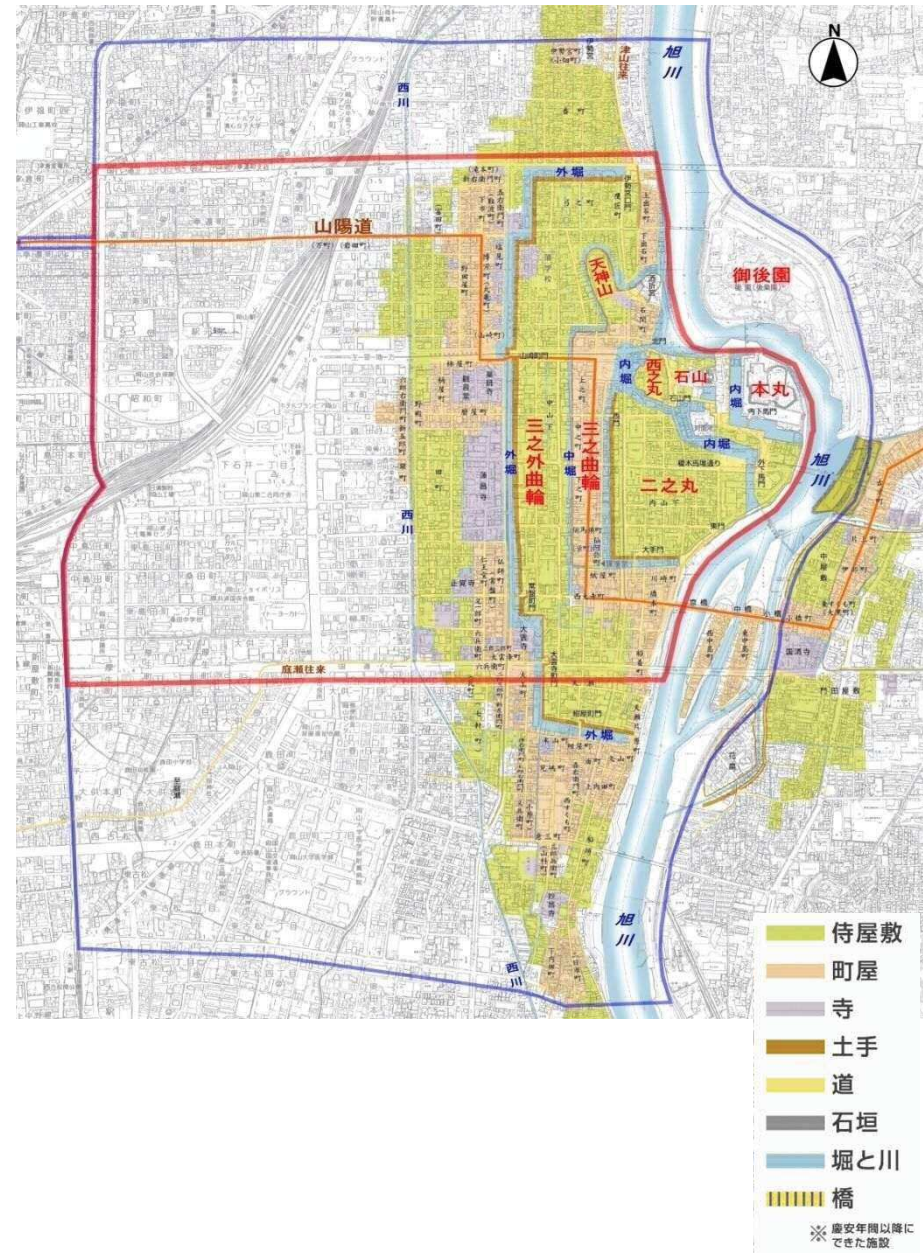


(参考) 中心市街地の基本構造図と岡山城下町復元図

基本構造図



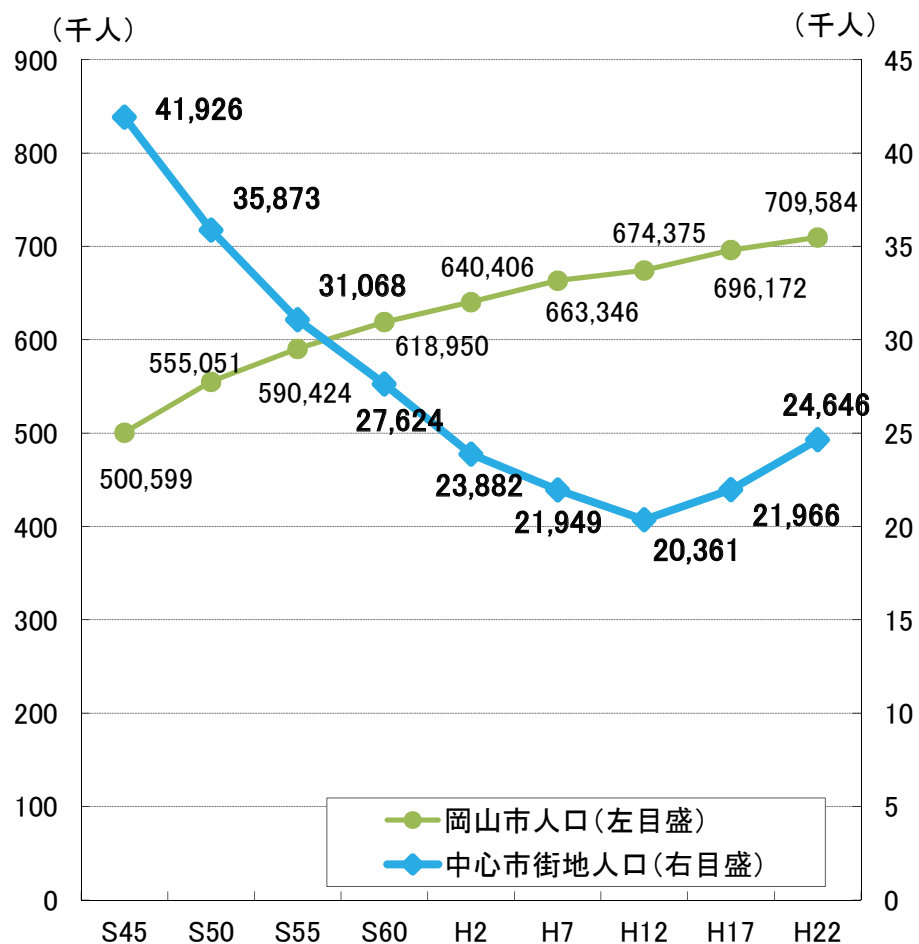
岡山城下町(OLD TOWN)復元図



中心市街地の人口推移

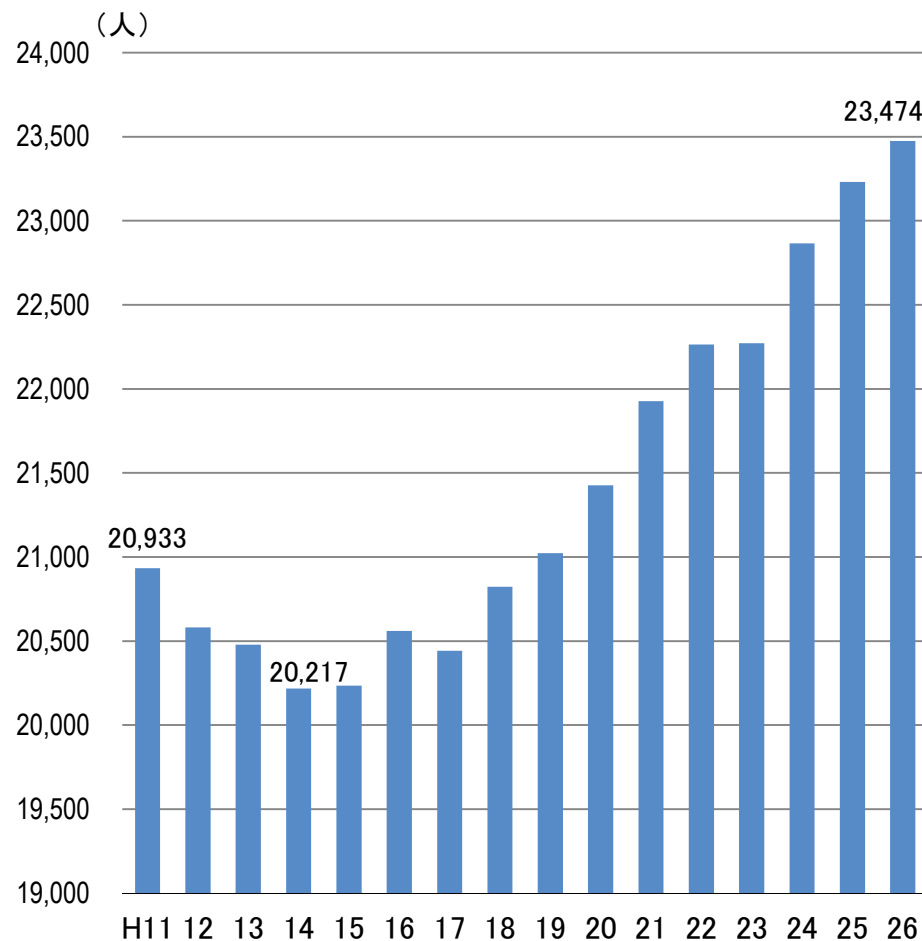
○岡山市全体の人口が一貫して増加しているのに対し、中心市街地の人口は長期的に減少してきたが、平成14年を底に増加に転じた。

中心市街地の長期的な人口推移(昭和45～平成22)



資料: 国勢調査

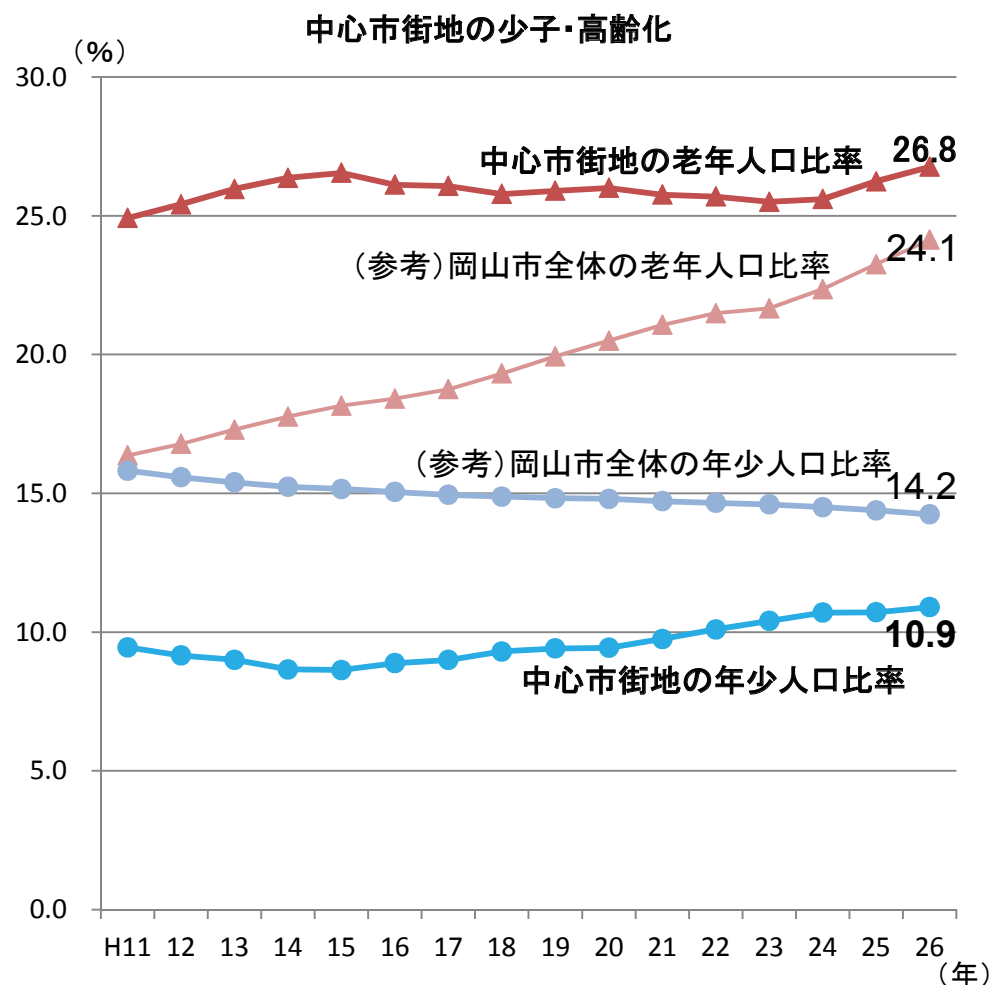
中心市街地の人口推移(平成11～26)



資料: 住民基本台帳人口(各年6月末日)

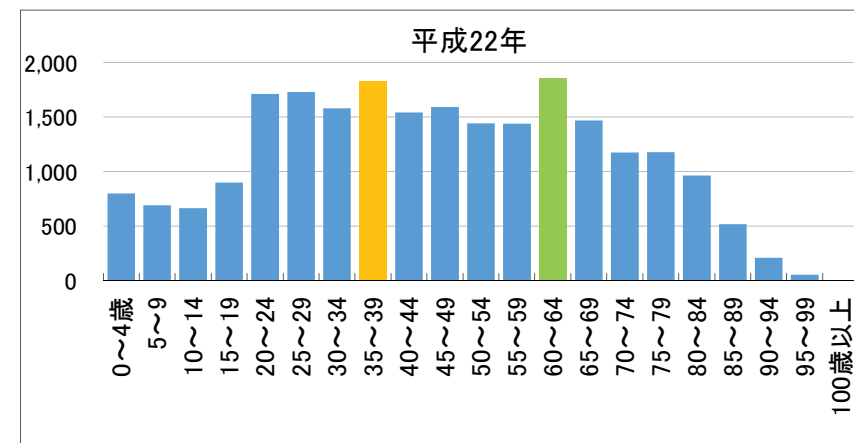
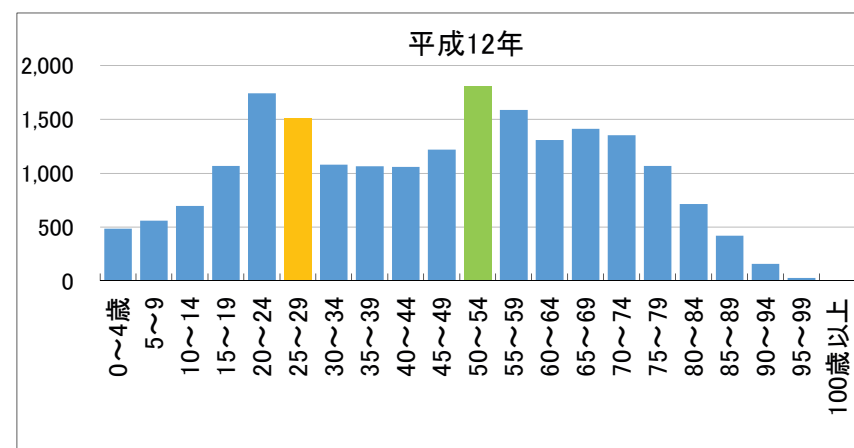
中心市街地の老年人口、年少人口

- 中心市街地の老年人口比率は長期的に横ばいで推移してきたが、平成25年から増加傾向に転じた。
- 中心市街地の年少人口比率は平成16年以降、増加傾向にある。
- 平成12年から平成22年にかけての年齢構成の変化をみると、若い世代、子育て世代等の年齢層が増加している。



資料:住民基本台帳人口(各年6月末日)

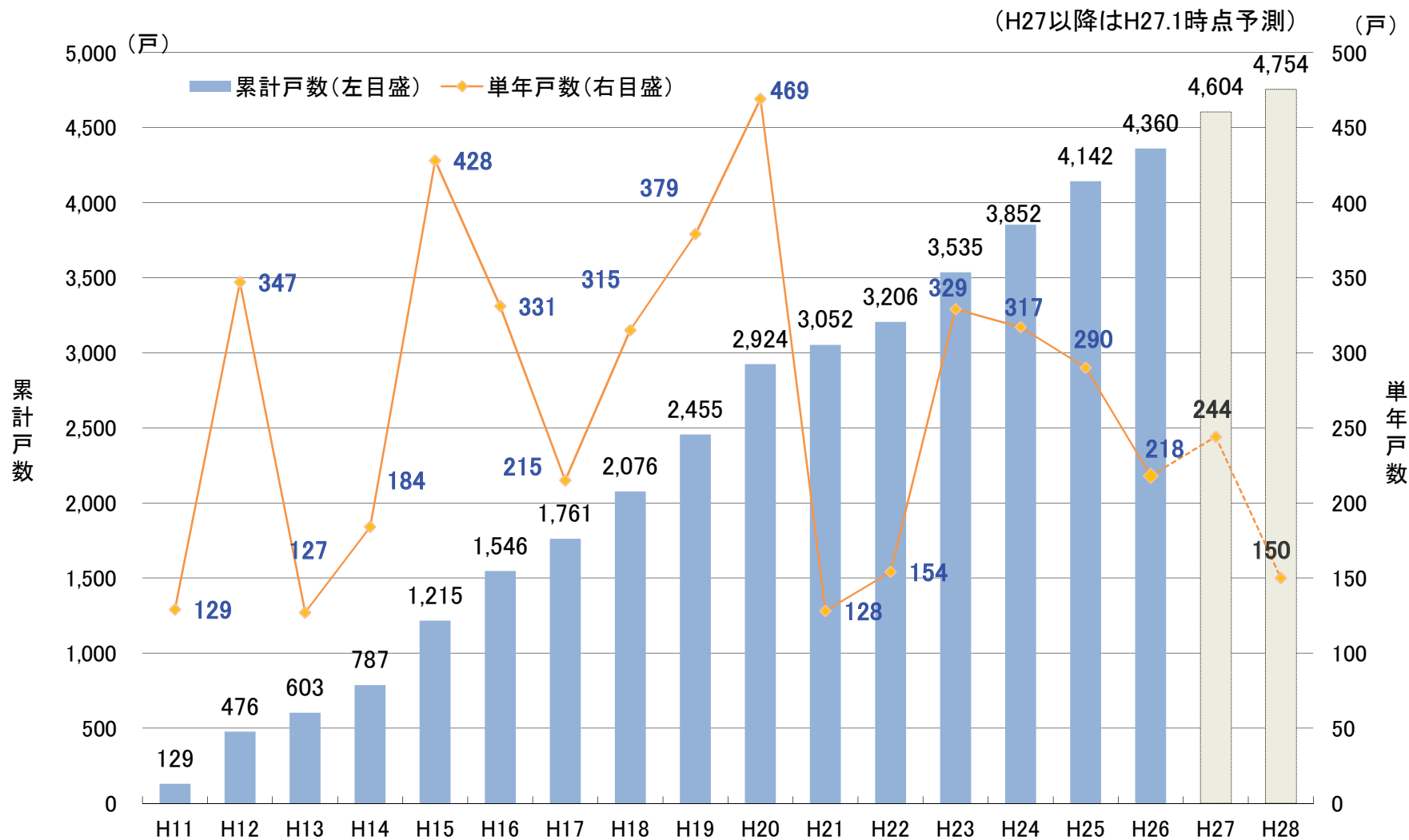
中心市街地の年齢構成の変化(平成12→22)



資料:国勢調査

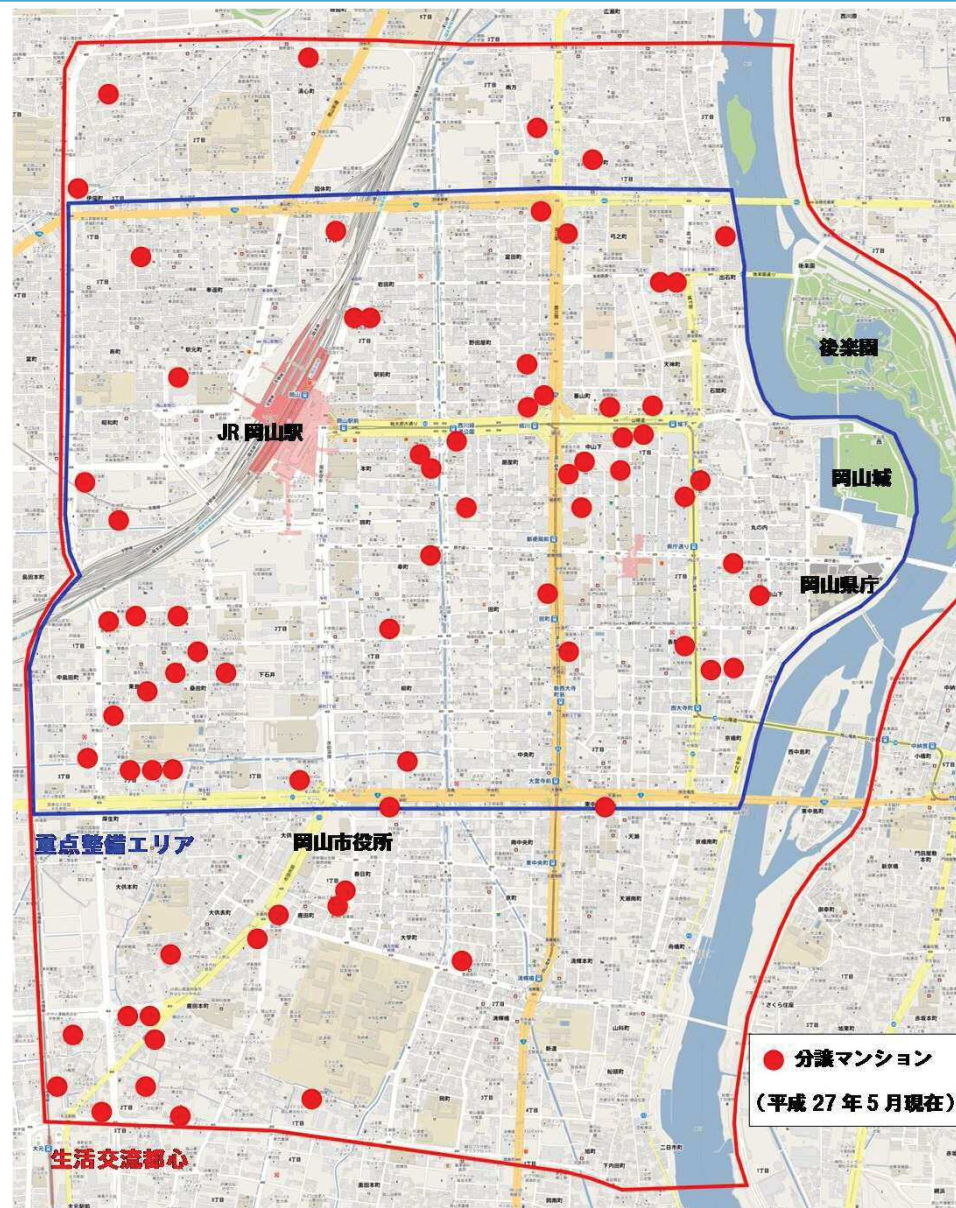
中心市街地（生活交流都心）の分譲マンション立地状況（戸数）

〇年により戸数は上下するが、ここ10数年は平均200戸前後のマンション供給がある。今後数年はこの傾向が続く見込み。



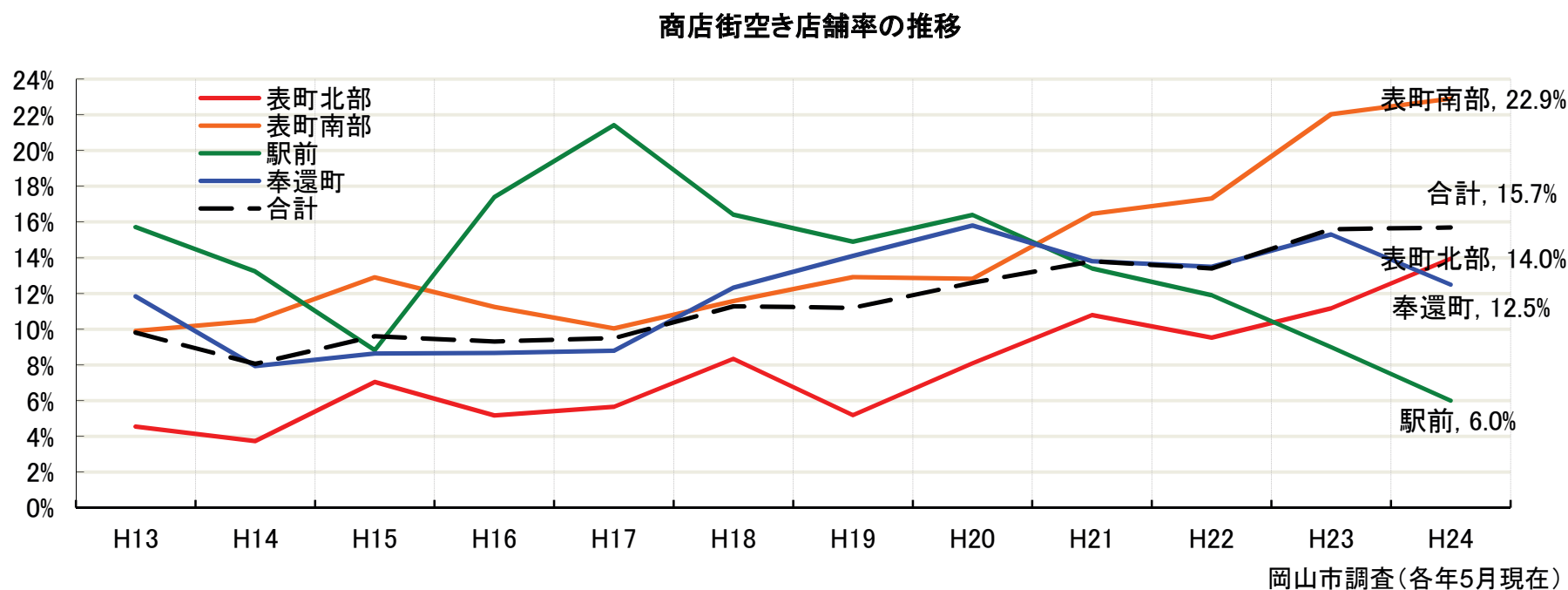
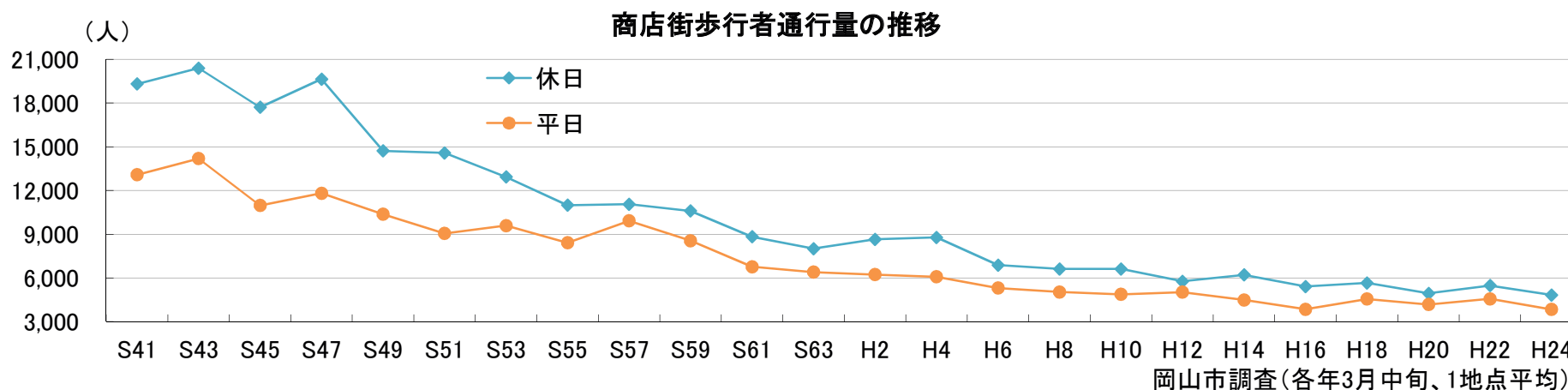
中心市街地（生活交流都心）の分譲マンション立地状況（棟数）

○平成12年以降、中心市街地で建設されたマンションは、生活交流都心で74棟（うち重点整備エリア54棟）。



中心市街地の商店街

- 商店街での歩行者通行量は減少傾向。
- 商店街の空き店舗率は、駅前商店街は平成17年以降は減少傾向。表町は南部、北部とも増加傾向。



中心市街地の駐車場等低未利用地の分布

- 平成23年調査では、中心市街地で約17%が駐車場等低未利用地となっている。
- 狭小な区画が多く、コインパーキングが点在している。

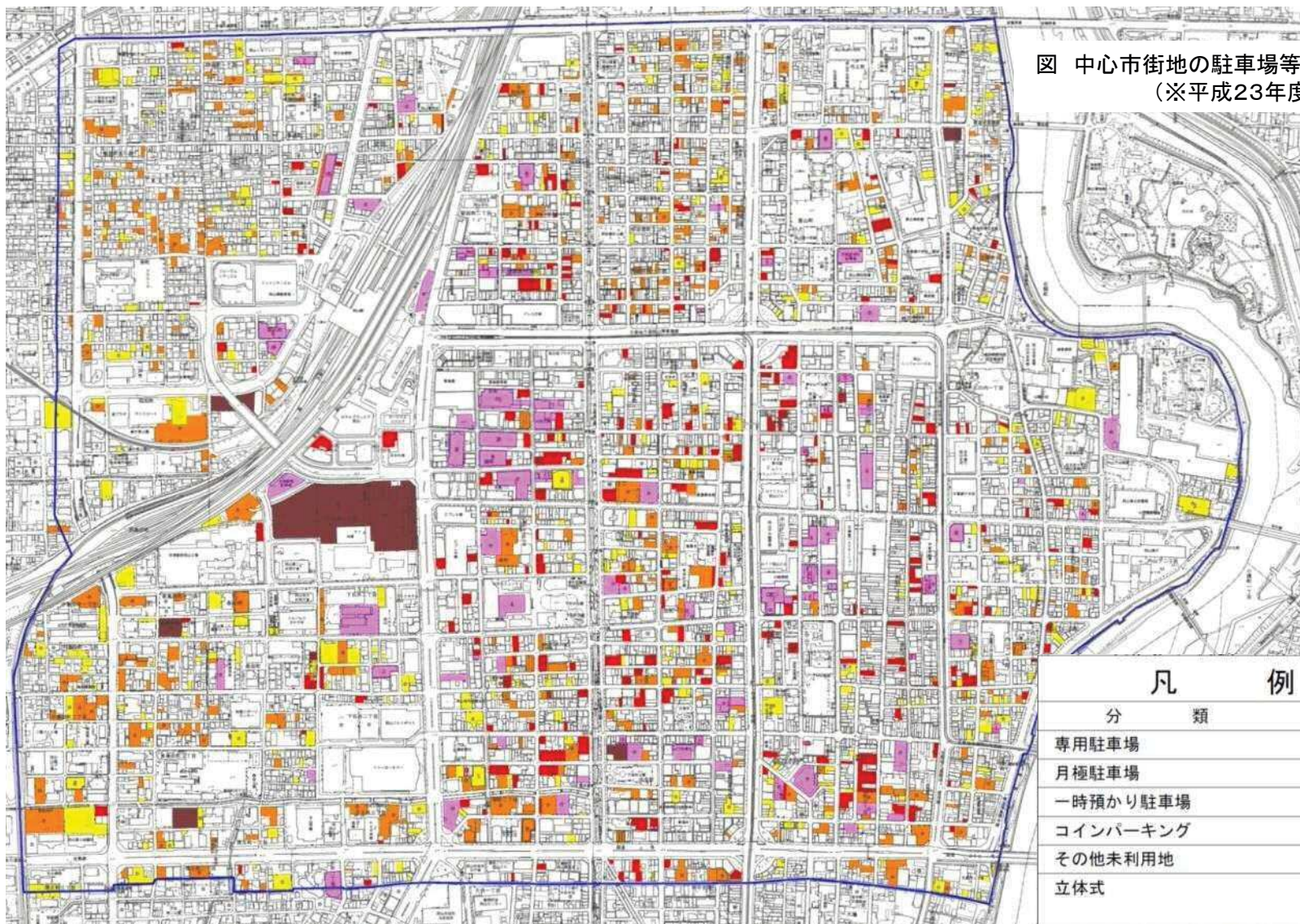

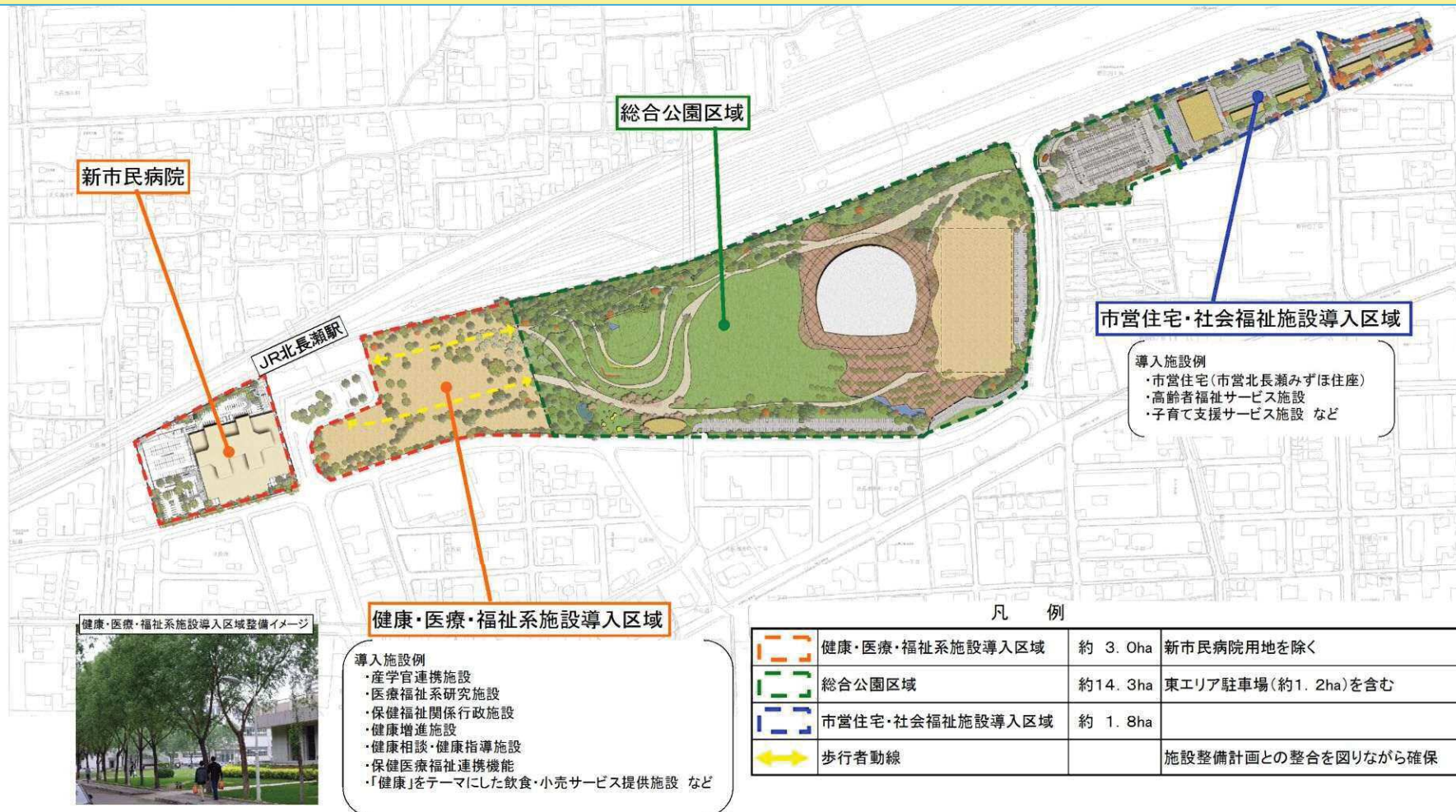


図 中心市街地の駐車場等低未利用地の分布
(※平成23年度調査)

凡 例	
分 類	色 彩
専用駐車場	
月極駐車場	
一時預かり駐車場	
コインパーキング	
その他未利用地	
立体式	上記色彩に加えて 紫のふちどりと階数

操車場跡地整備

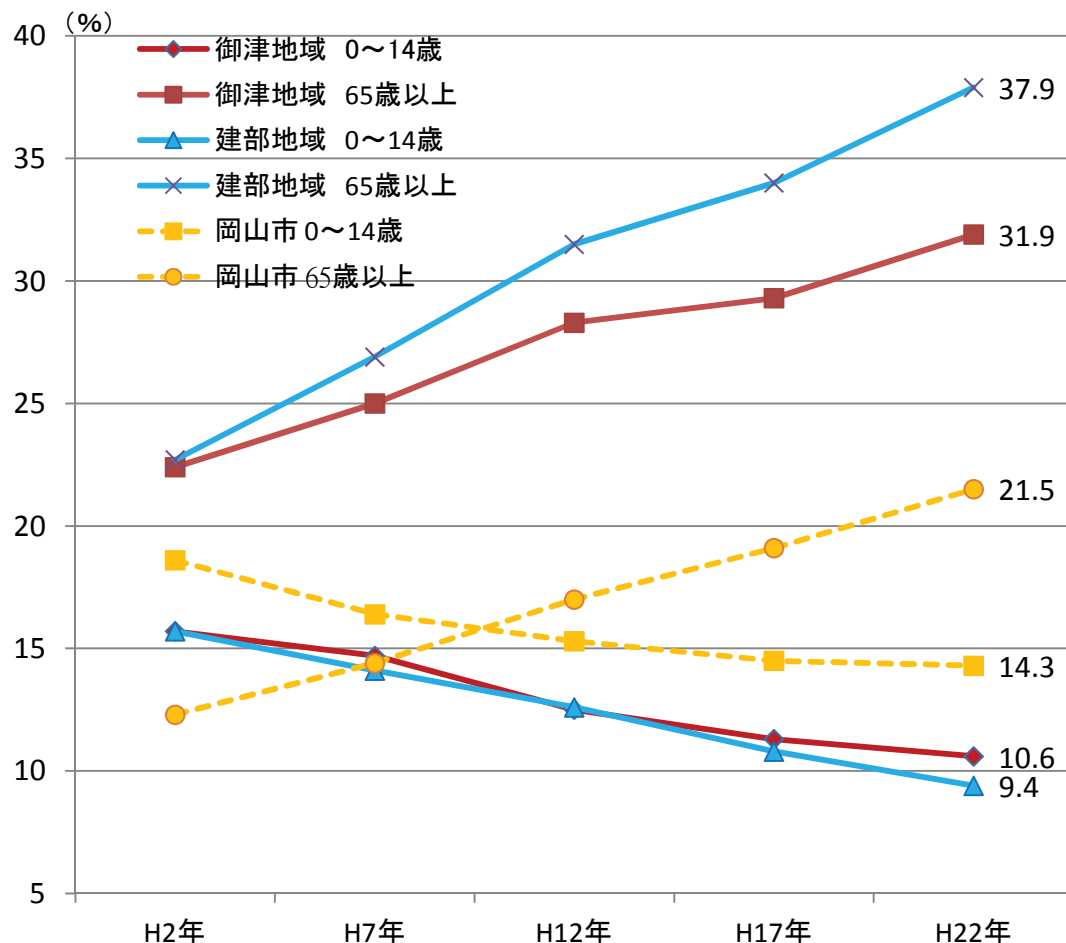
- 健康・医療・福祉系施設導入区域では、平成27年5月に開院の新市民病院の立地をいかし、民間活力も活用した健康・医療・福祉系の都市機能の集積を推進。
- 総合公園区域は、緑あふれる総合公園として、また防災公園として整備を推進。
- 市営住宅・社会福祉施設導入区域では、子育て支援、高齢者支援・居住機能の導入に向けた取組を推進。



中山間地域の人口推移

- 岡山市の中山間地域は、旧建部町、旧御津町である(旧建部町は過疎地域にも指定されている)。
- 平成22年の老年人口比率は、建部地域37.9%、御津地域31.9%と岡山市の21.5%よりも高い。
- 平成22年の若年人口割合は、建部地域9.4%、御津地域10.6%と岡山市の14.3%よりも低い。

中山間地域：岡山県中山間地域の振興に関する基本条例で定められている地域
 過疎地域：自立促進特別措置法により定められている地域



(人)

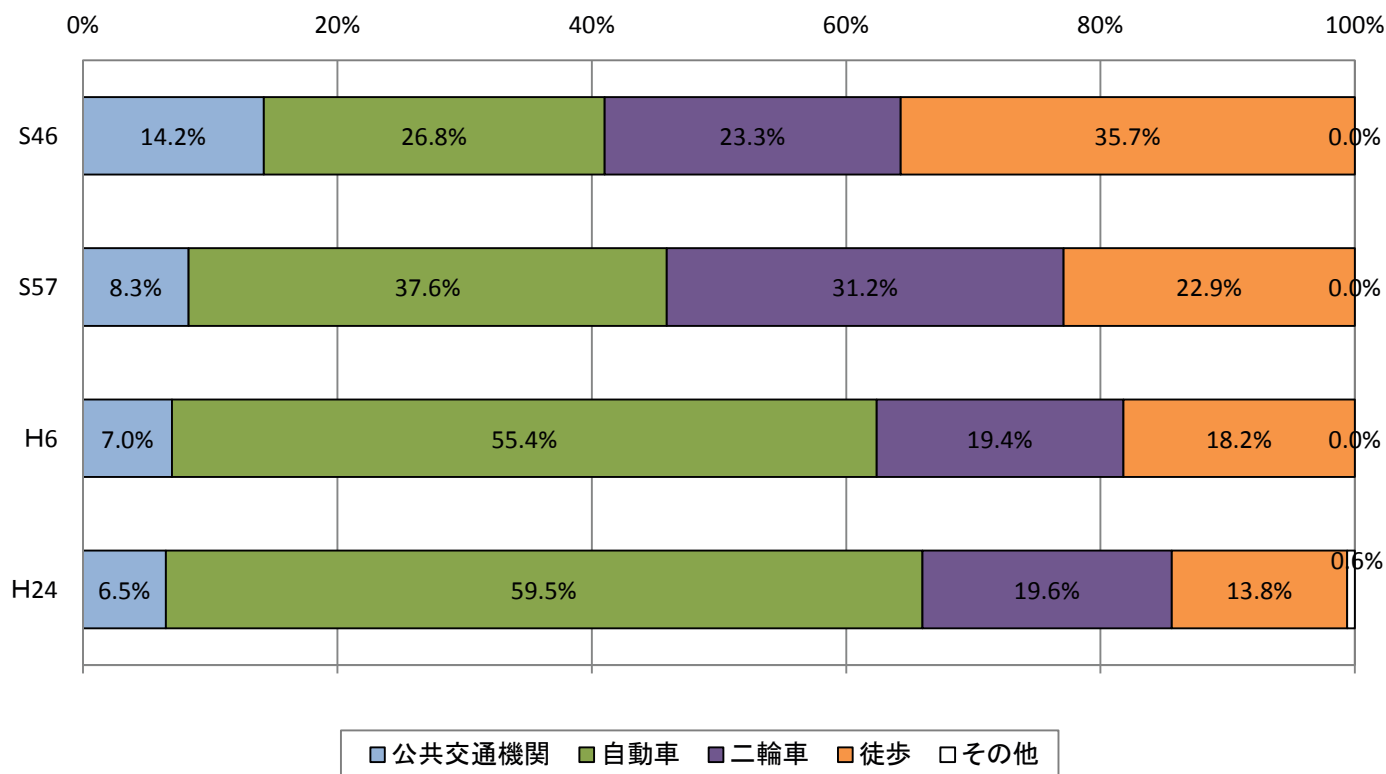
建部地域	H2年	H7年	H12年	H17年	H22年
総数	7,701	7,338	6,989	6,524	6,075
0~14歳	1,207	1,033	880	705	573
15~64歳	4,746	4,328	3,910	3,603	3,201
65歳以上	1,748	1,977	2,199	2,216	2,301
75歳以上	789	887	1,020	1,020	1,385
65歳以上：%	22.7	26.9	31.5	34.0	37.9

(人)

御津地域	H2年	H7年	H12年	H17年	H22年
総数	10,648	10,582	10,214	10,111	9,738
0~14歳	1,675	1,553	1,273	1,145	1,033
15~64歳	6,588	6,386	6,049	6,007	5,602
65歳以上	2,385	2,643	2,892	2,959	3,103
75歳以上	1,155	1,193	1,377	1,601	1,713
65歳以上：%	22.4	25.0	28.3	29.3	31.9

岡山市の代表的な交通手段分担率の変化

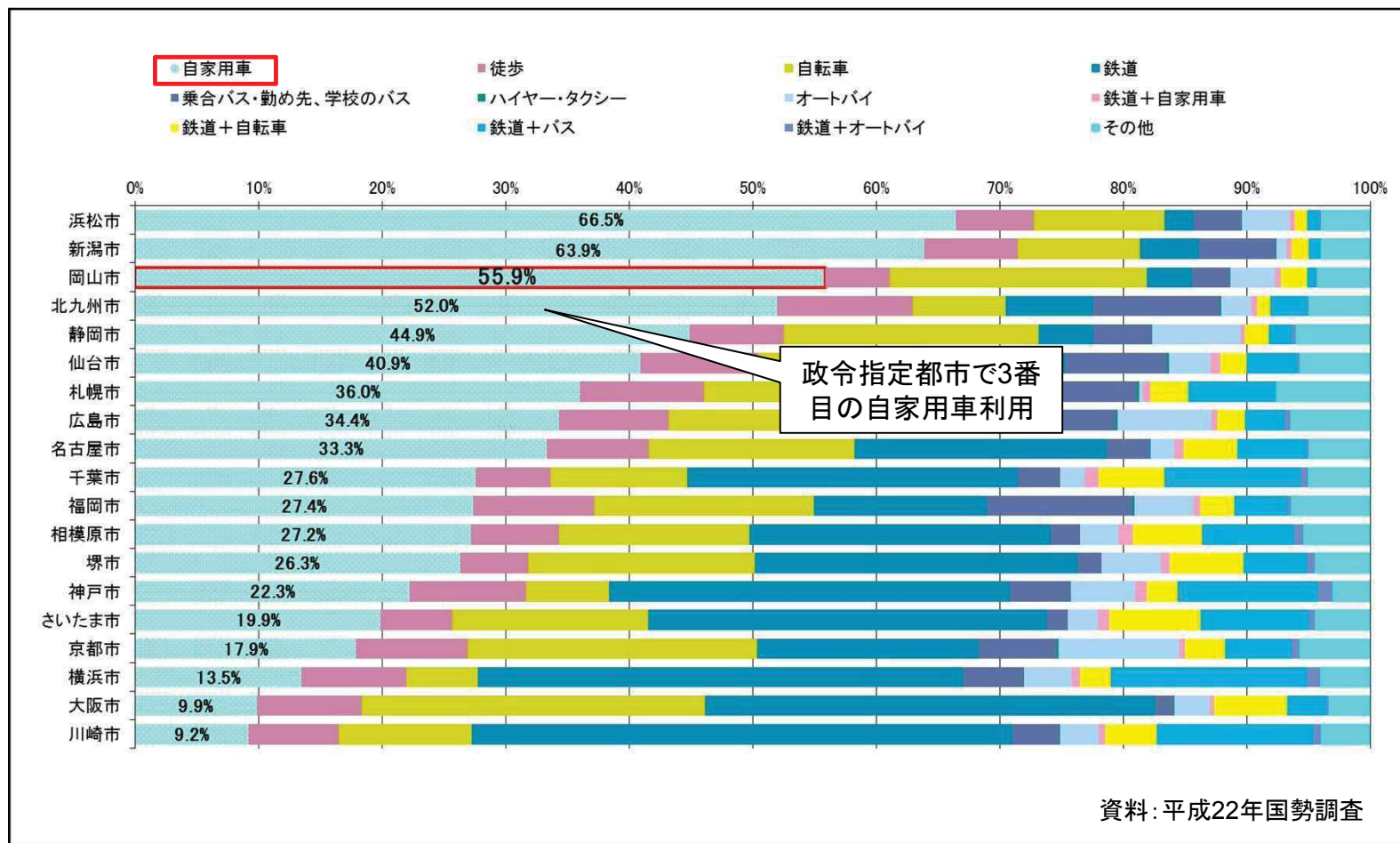
- 公共交通の分担率は自動車が増加し、最も高くなっている。
- 平成24年の代表交通手段の分担率は、自動車が約6割(59.5%)と過半数を占めている。
- 平成6年と平成24年を比較すると自動車の分担率は、55.4%から59.5%と約4%の増加が見られる。



資料: H24交通実態調査

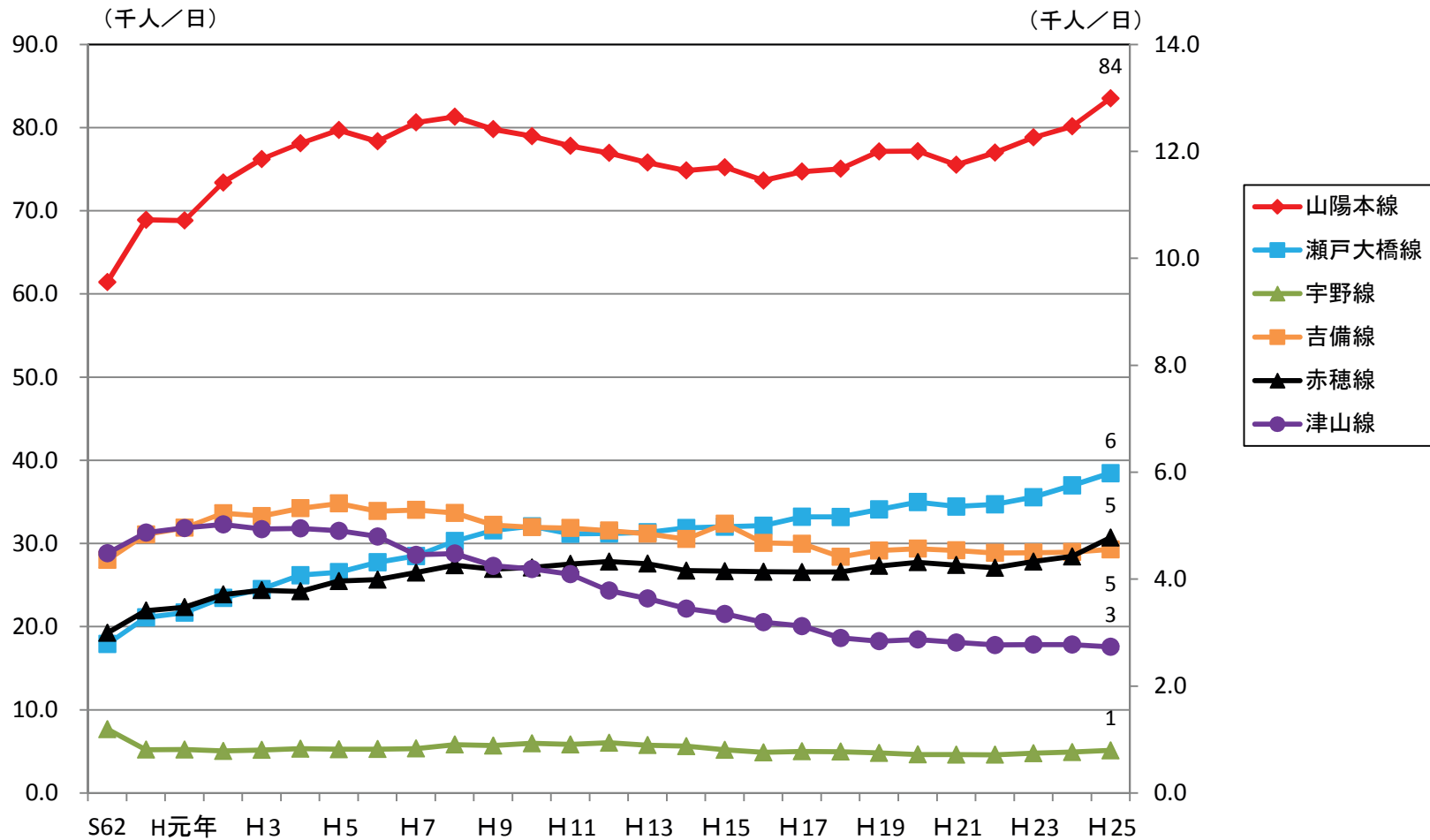
通勤通学時における自家用車交通分担率

○岡山市の通勤通学時における交通手段分担率のうち、自家用車の割合は55.9%を占め、指定都市で3番目の利用状況である。



岡山市内のJR路線別の1日平均利用者数

- 岡山市内のJR路線別利用者数は、山陽本線が最も多く、増加傾向にある。
- 一部路線においては、減少している路線もある。

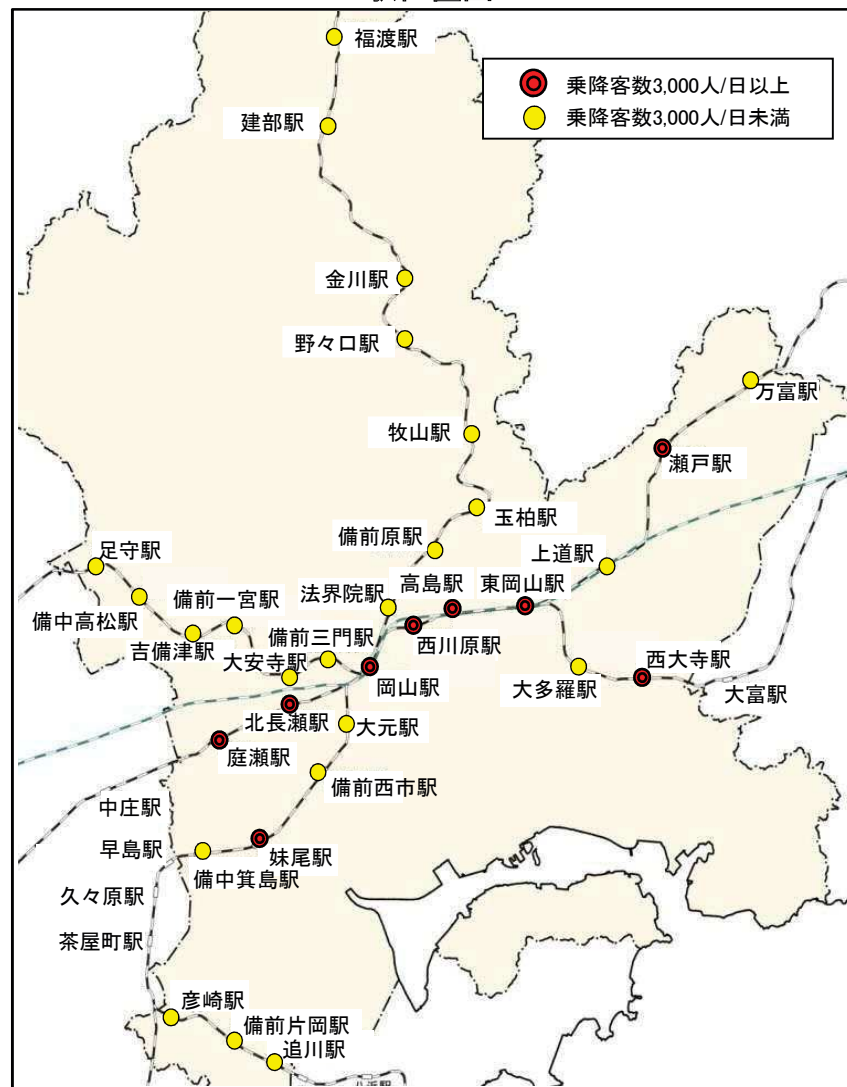


資料:JR提供

岡山市のJR駅別利用者数

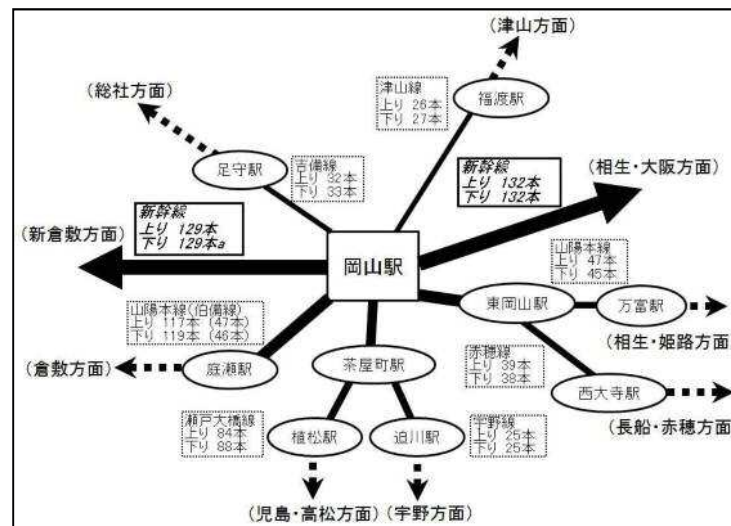
○岡山駅を中心に山陽新幹線をはじめ在来線7線が運行しており、乗降客数は岡山駅が12.5万人/日で突出している。
 ○岡山市内の乗降客数3,000人/日以上、9駅である。

JR駅位置図



資料: JR提供

鉄道網と各路線の運航頻度(平成26年3月時点)

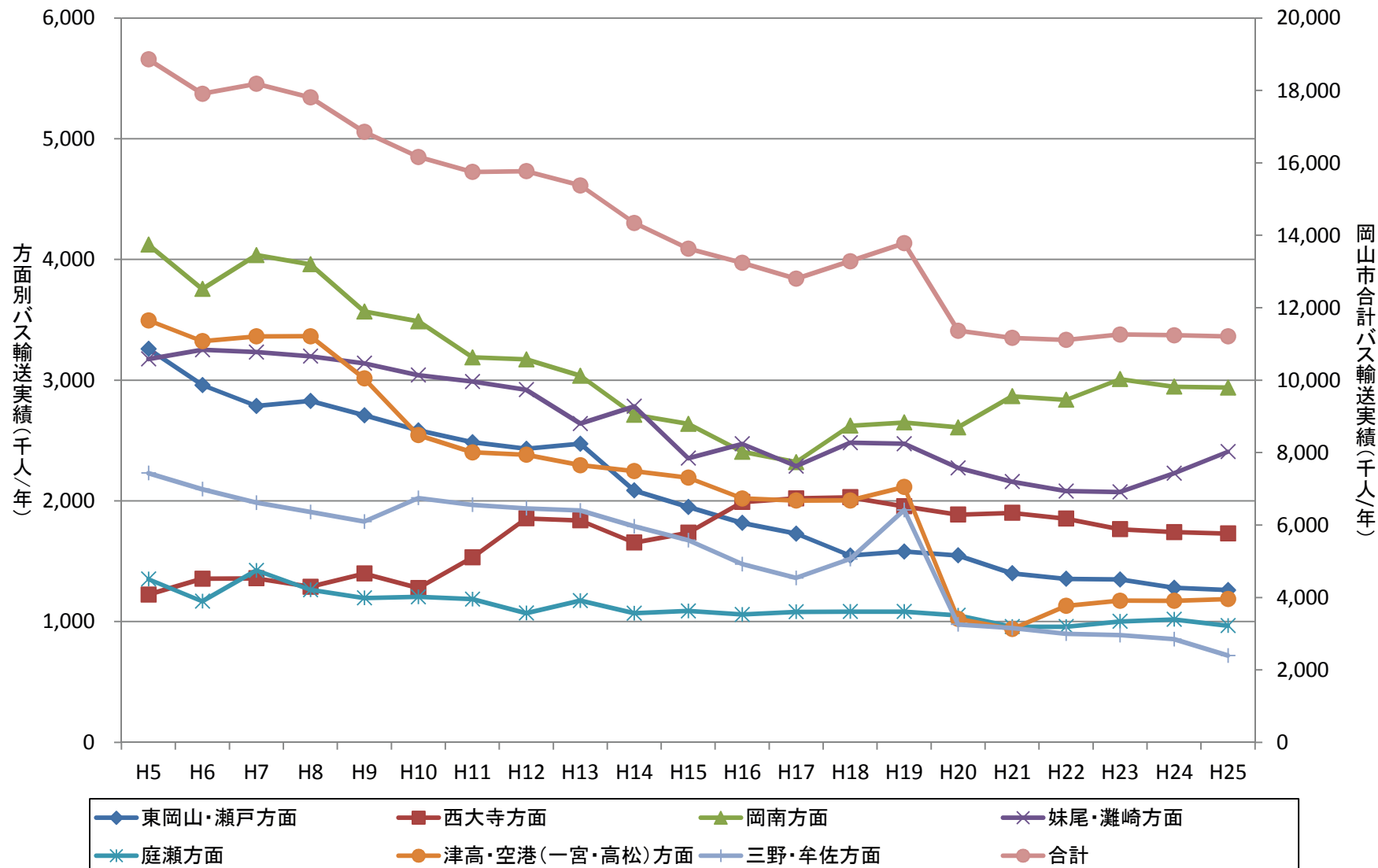


各駅平均乗降客数(人/日) (平成25年度)

順位	駅名	計	順位	駅名	計
1	岡山	124,555	17	金川	1,734
2	庭瀨	7,766	18	備前一宮	1,683
3	北長瀨	6,822	19	万富	1,344
4	東岡山	6,752	20	足守	1,153
5	西大寺	6,736	21	吉備津	1,120
6	妹尾	6,018	22	彦崎	589
7	西川原	5,939	23	大安寺	573
8	高島	5,880	24	追川	508
9	瀬戸	5,143	25	備前片岡	493
10	大元	2,850	26	福渡	479
11	上道	2,823	27	建部	420
12	大多羅	2,816	28	植松	290
13	備中高松	2,654	29	備中箕島	273
14	備前西市	2,534	30	野々口	223
15	法界院	2,178	31	玉柏	179
16	備前三門	1,928	32	備前原	172
			33	牧山	84

岡山市内主要バス路線の輸送実績

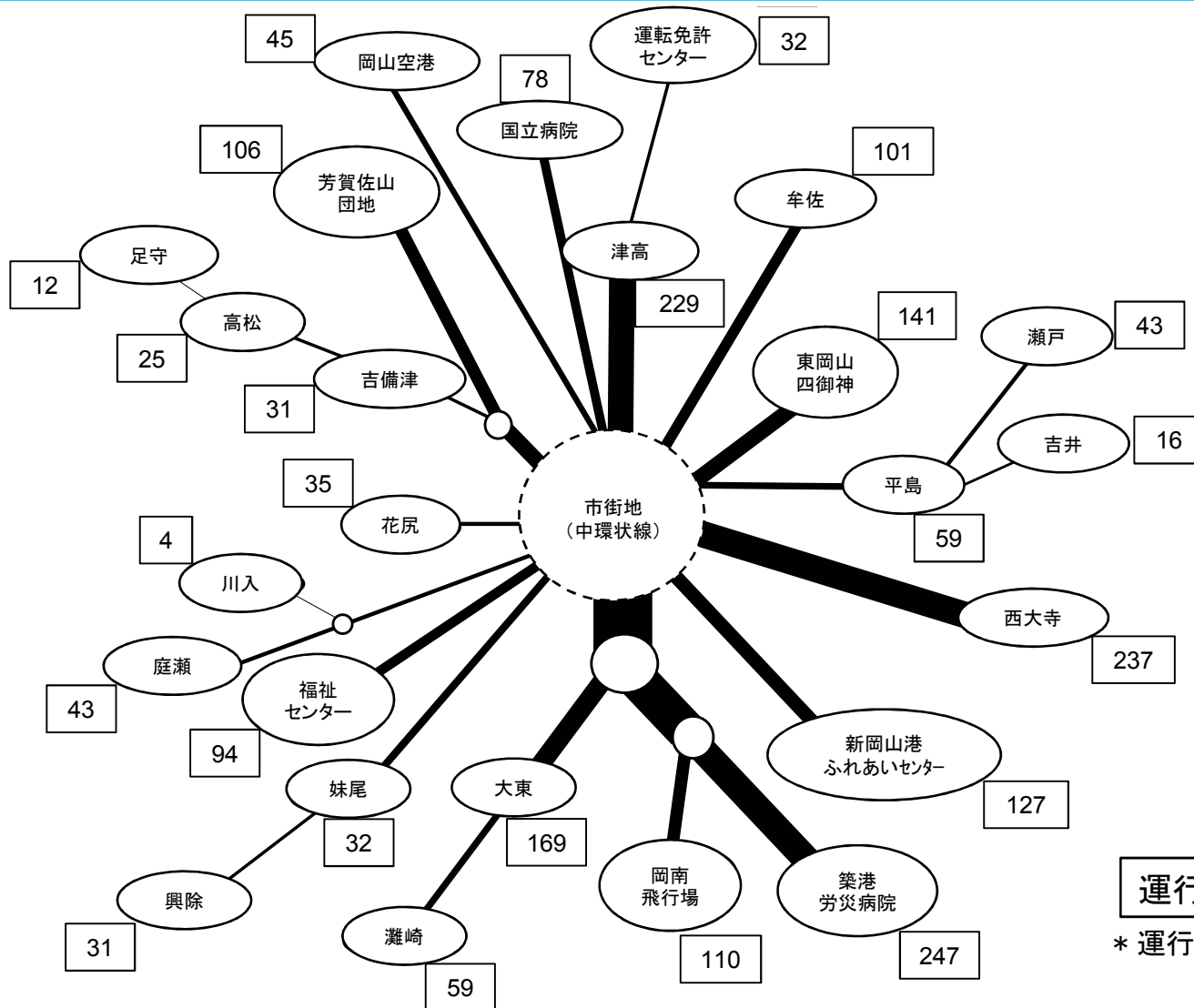
○輸送量は平成20年から、横ばいで推移している。
 ○平成20年に三野方面や津高方面での路線再編・廃止等があり、減少している。



資料：岡山県バス協会提供

岡山市内の主な路線バスの方面別運行本数

○岡山市内の主な路線バスの方面別運行本数をみると、「西大寺」、「築港、労災病院」、「津高」方面が特に多く、いずれも200本以上である。



運行本数 (H26)

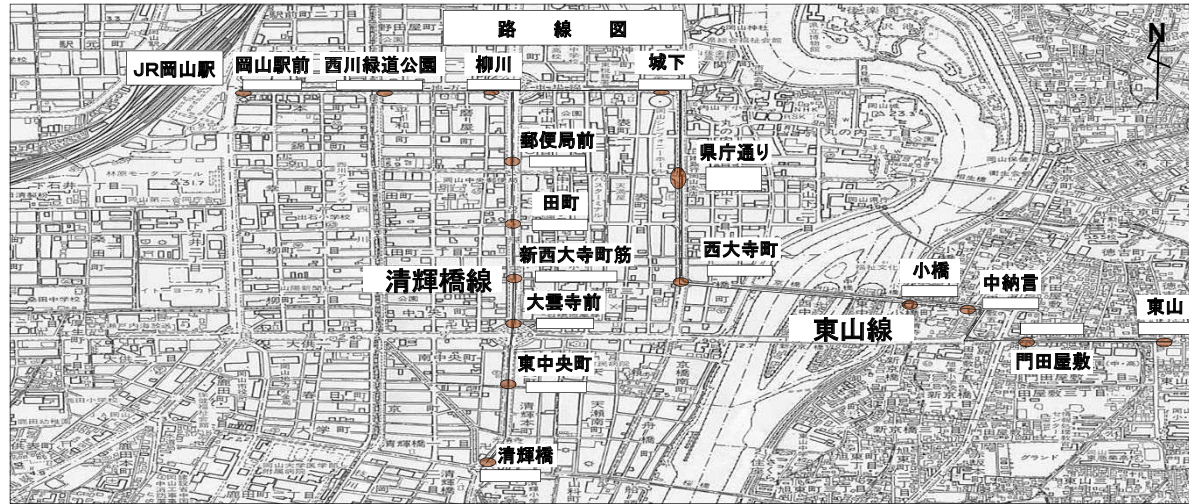
* 運行本数は、往路・復路合計

岡山市内の主な路線バスの方面別運行本数(平日)

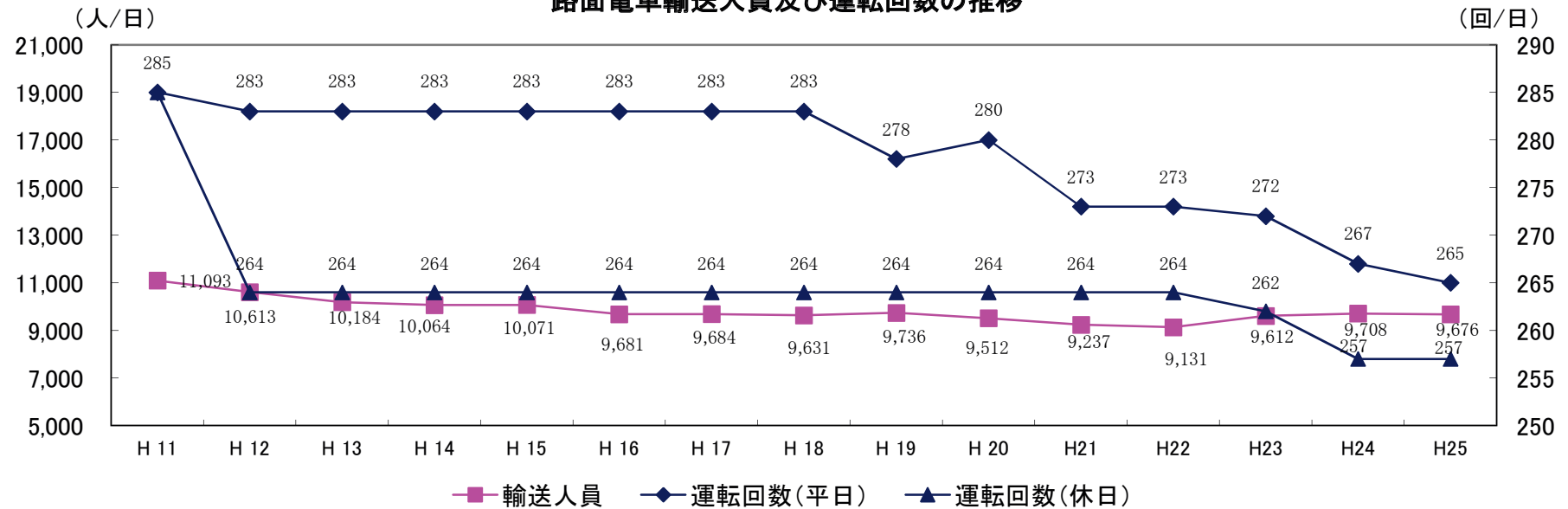
資料:各バス会社時刻表

岡山市の路面電車輸送人員及び運転回数の推移

○乗降客数は平成22年度までは減少傾向にあるが、平成23年度以降は横ばいとなっている。
 ○路面電車の運転回数は、年々減少傾向にある。



路面電車輸送人員及び運転回数の推移



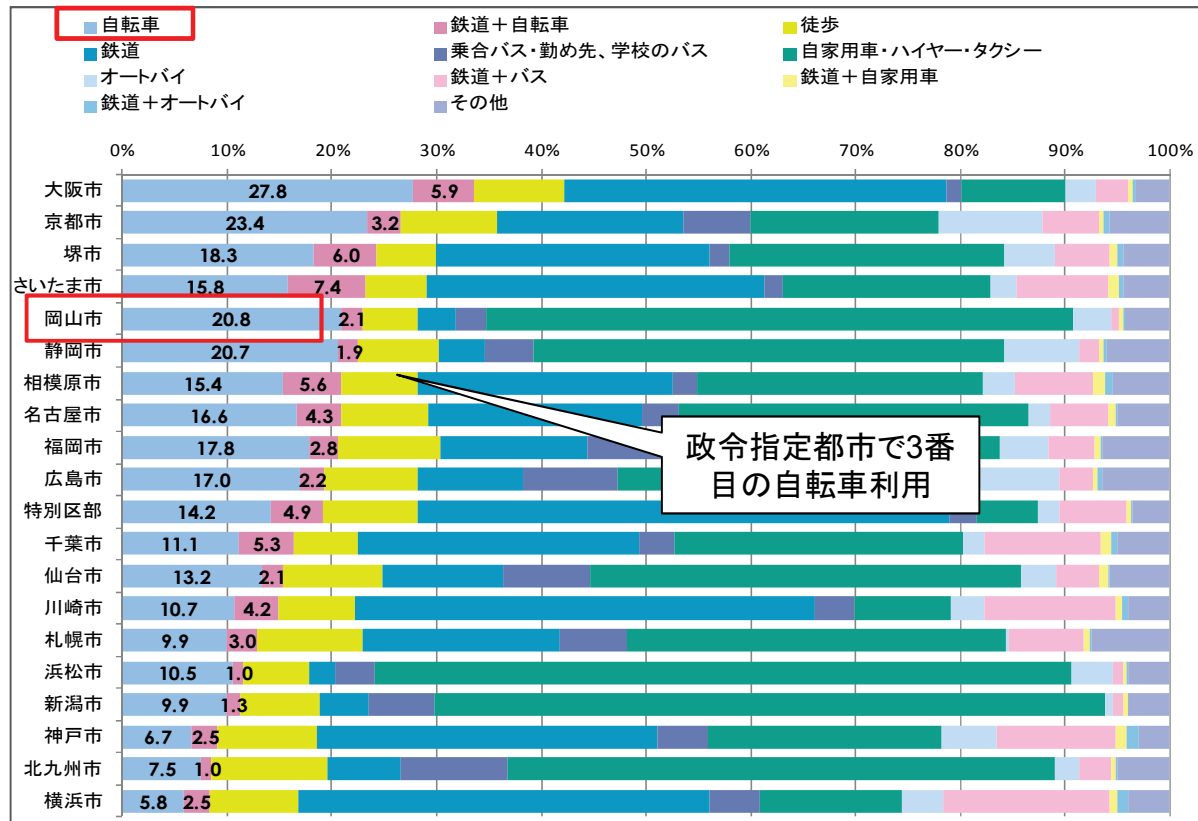
資料: 岡山市都市整備局

岡山市の自転車利用環境等に関する満足度

- 岡山市の通勤通学時の交通手段で、自転車の分担率は20.8%で、政令指定都市で3番目。
- 高い自転車利用の一方で、自転車利用環境等に対する満足度は低い。

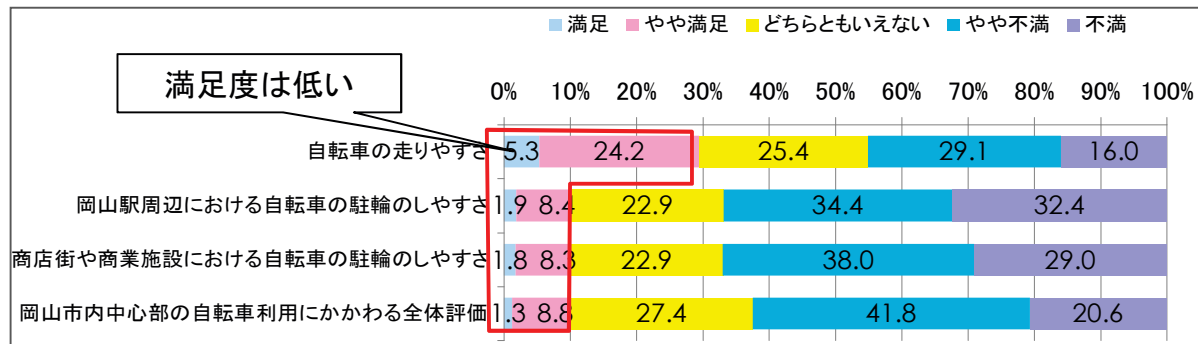
通勤通学時の交通手段 (政令指定都市集計)

資料:平成22年国勢調査



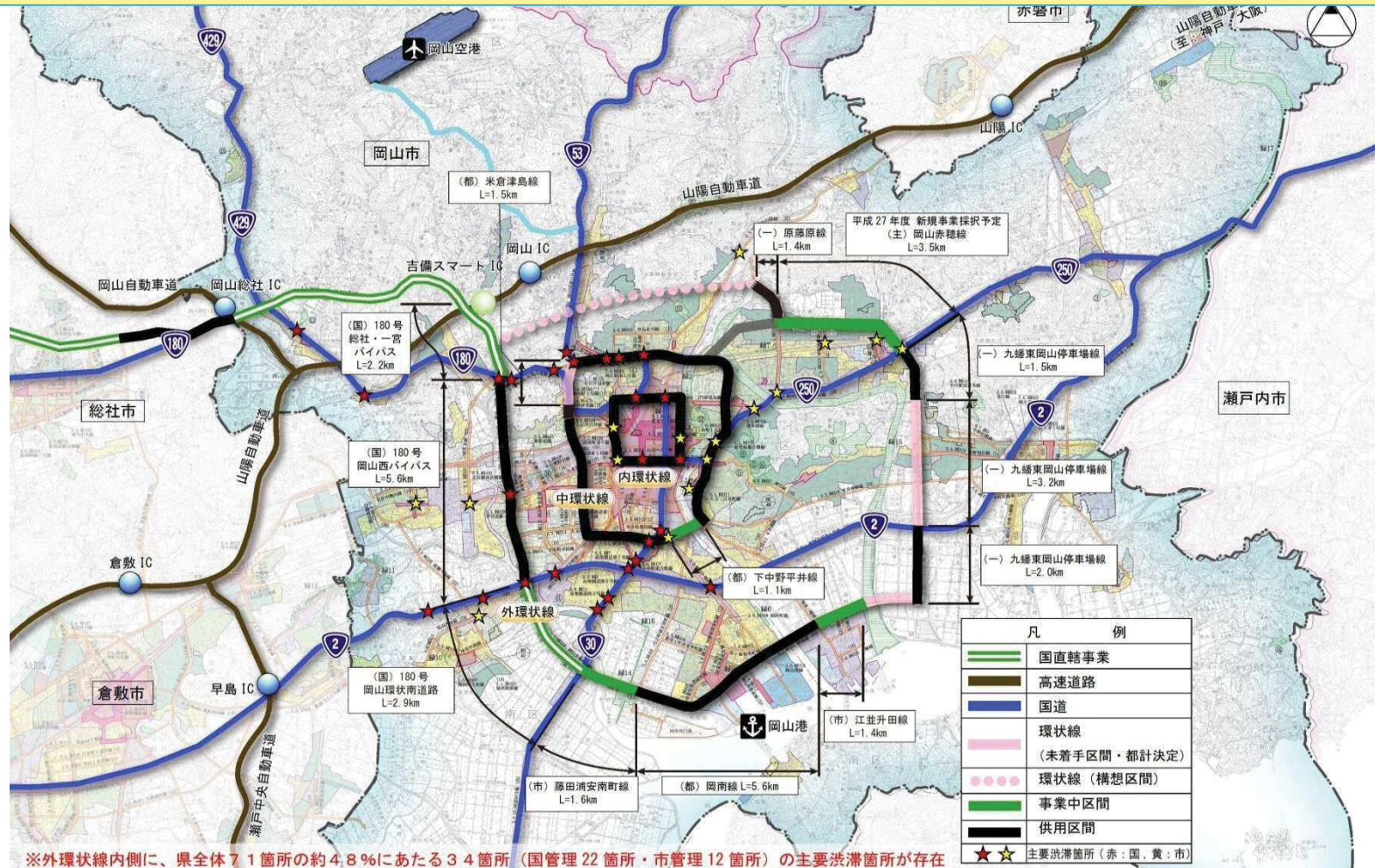
市内の自転車利用環境等 に対する満足度

資料:岡山市民アンケート調査
(H23.11月~H24.1月交通政策課実施)



岡山環状道路の整備状況

- 内環状線:延長 6.7km 整備率100%
- 中環状線:延長16.6km 整備率 90%(暫定供用含む)
 - ・事業中区間:(市施行)下中野平井線 約1.0km ・事業着手準備区間:米倉津島線 約0.6km
- 外環状線:延長38.4km 整備率 42%(暫定供用含む)
 - ・事業中区間:(国直轄)国道180号総社一宮バイパス 約1.2km、岡山環状南道路 約2.9km
(市施行)市道藤田浦安南町線 約1.6km、市道江並升田線 約1.4km、主要地方道岡山赤穂線 約3.5km
- * 外環状線は地域高規格道路に指定

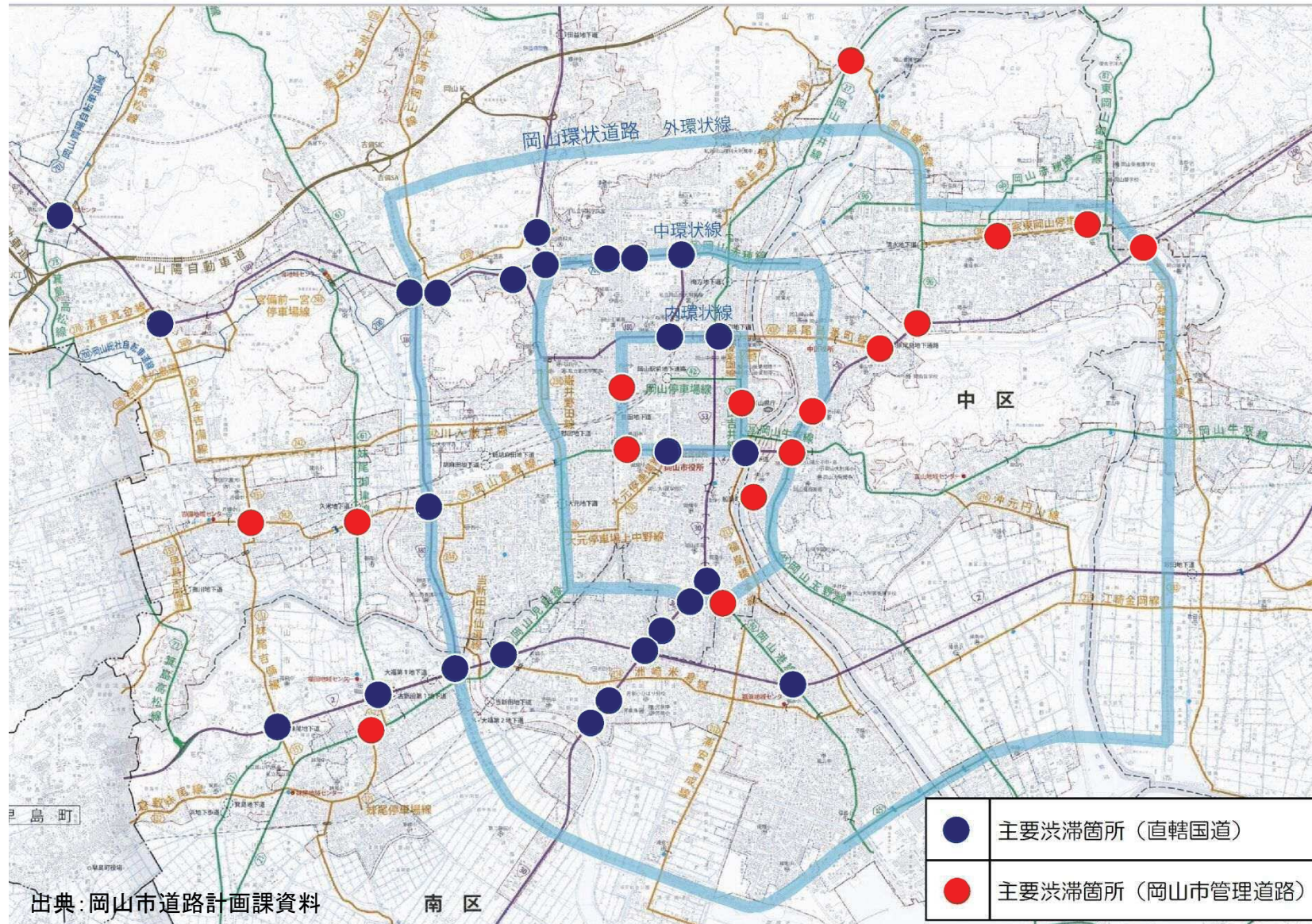


※外環状線内側に、県全体71箇所の約4.8%にあたる34箇所(国管理22箇所・市管理12箇所)の主要渋滞箇所が存在

出典:岡山市道路計画課資料

岡山市内の主要渋滞箇所

○平成25年1月に岡山県道路交通渋滞対策部会により、市内の主要渋滞箇所が42箇所指定された。



岡山市の管理する橋りょうの現状

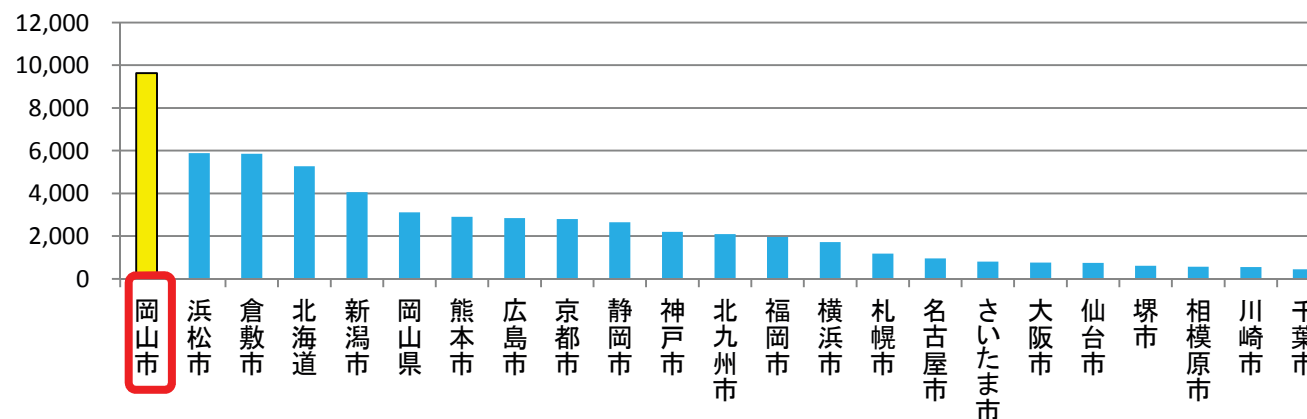
- 高度経済成長期に建設された道路ストックの老朽化が進んでいる。
- 15m以上の橋梁のうち建設後50年を経過している橋梁の割合は、現在約1割(65橋)であるが、10年後には約4割(185橋)となり、20年後には約6割(314橋)となる。
- さらに、岡山市は膨大な橋梁数を管理しており、9,630橋と全国の地方公共団体で第一位。

建設後50年以上経過する橋梁の割合(H26.4.1時点)



資料: 岡山市道路管理課

政令指定都市の管理橋梁数(H26.4.1時点)

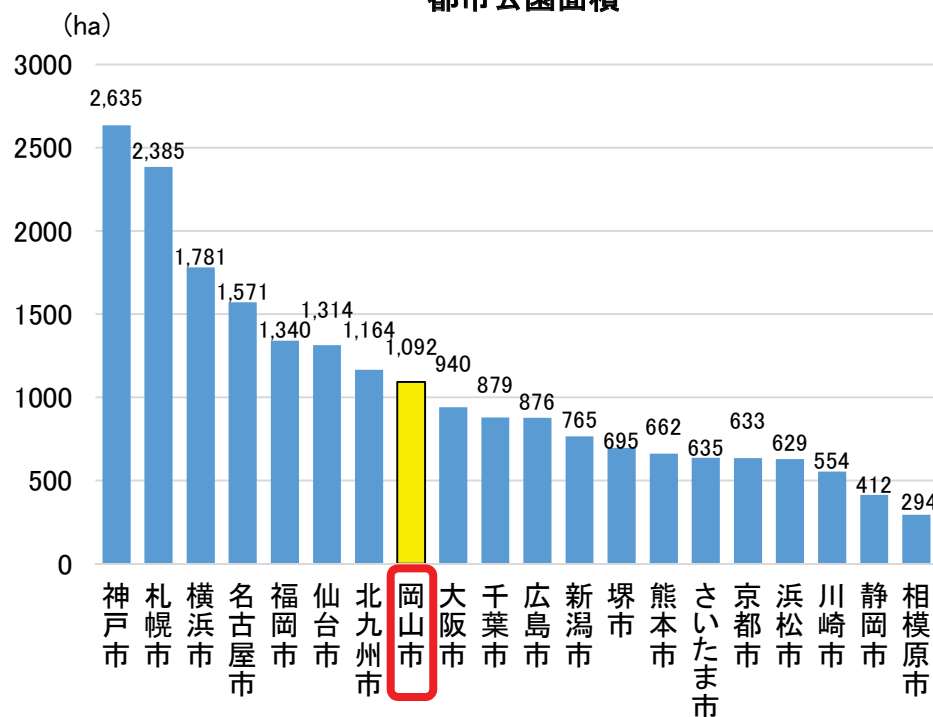


資料: 国土交通省

指定都市別 都市公園面積

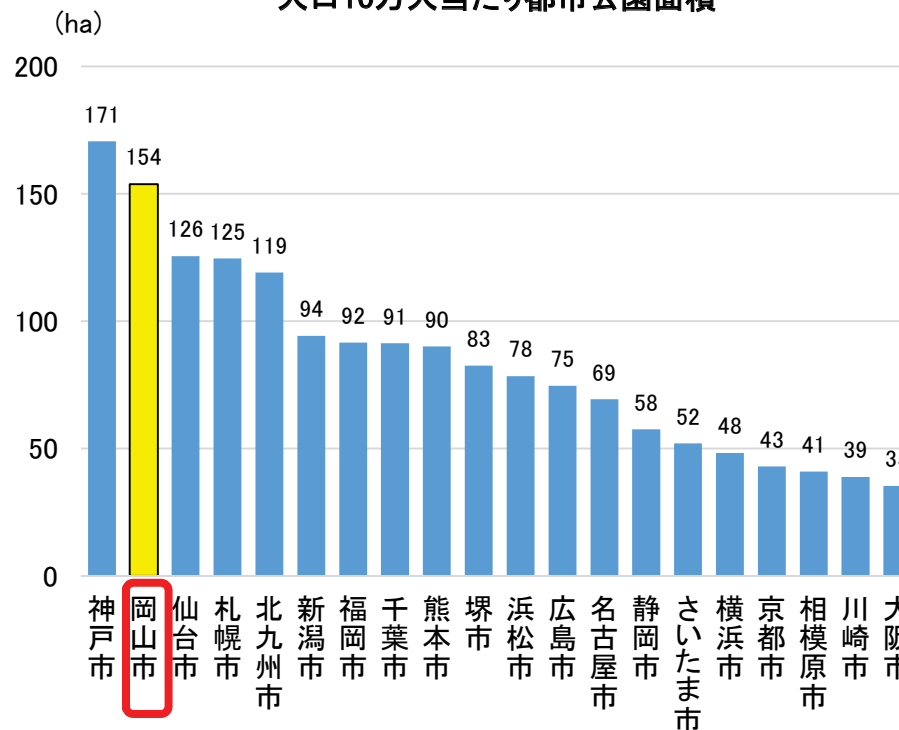
○岡山市の都市公園面積は1,092haであり、指定都市の中では、8位である。
 ○岡山市の人口10万人当たり都市公園面積は154haであり、神戸市に次いで広い。

都市公園面積



資料：大都市比較統計年表(H24)

人口10万人当たり都市公園面積

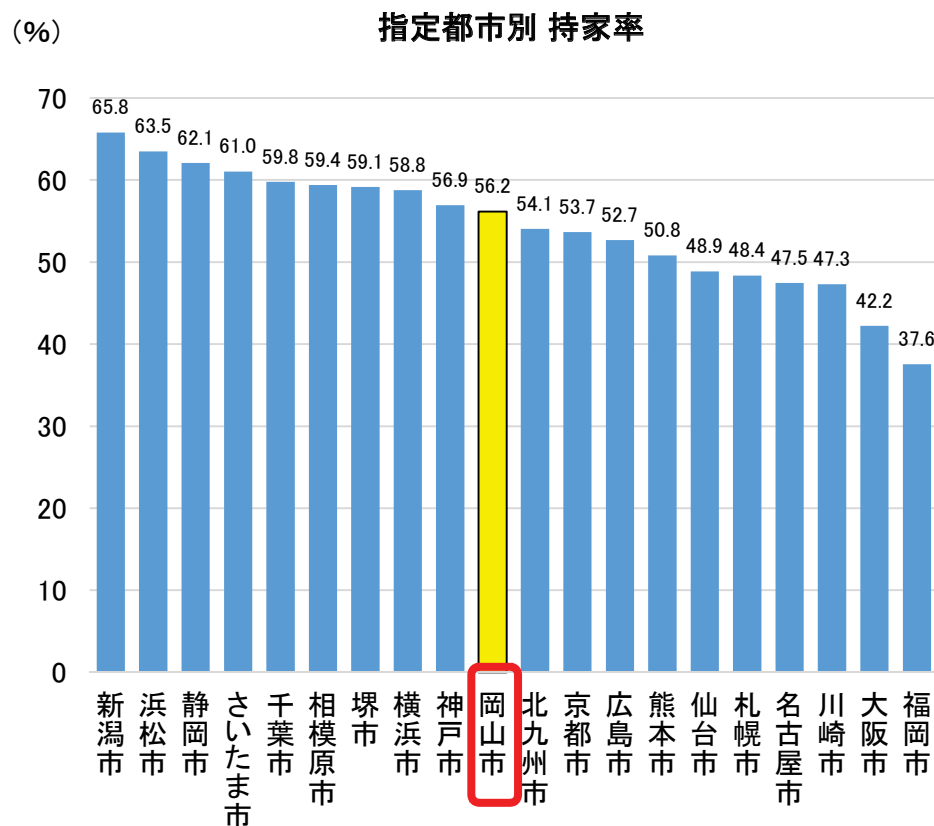


資料：大都市比較統計年表(H24)、総務省「国勢調査(H22)」をもとに作成

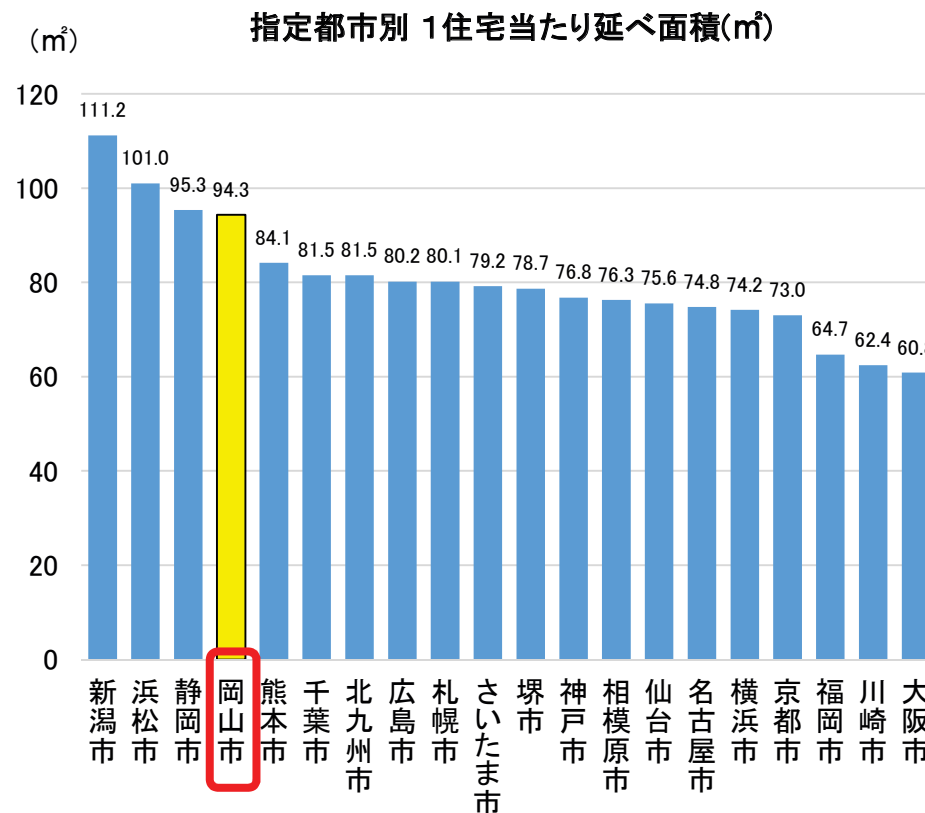
指定都市別 持家率、1住宅当たり延べ面積

○岡山市の持家率は56.2%で、指定都市の中で、10位である。

○岡山市の1住宅当たり延べ面積(借家も含む)は94.3㎡であり、指定都市の中で、新潟市、浜松市、静岡市に次いで4番目に広い。



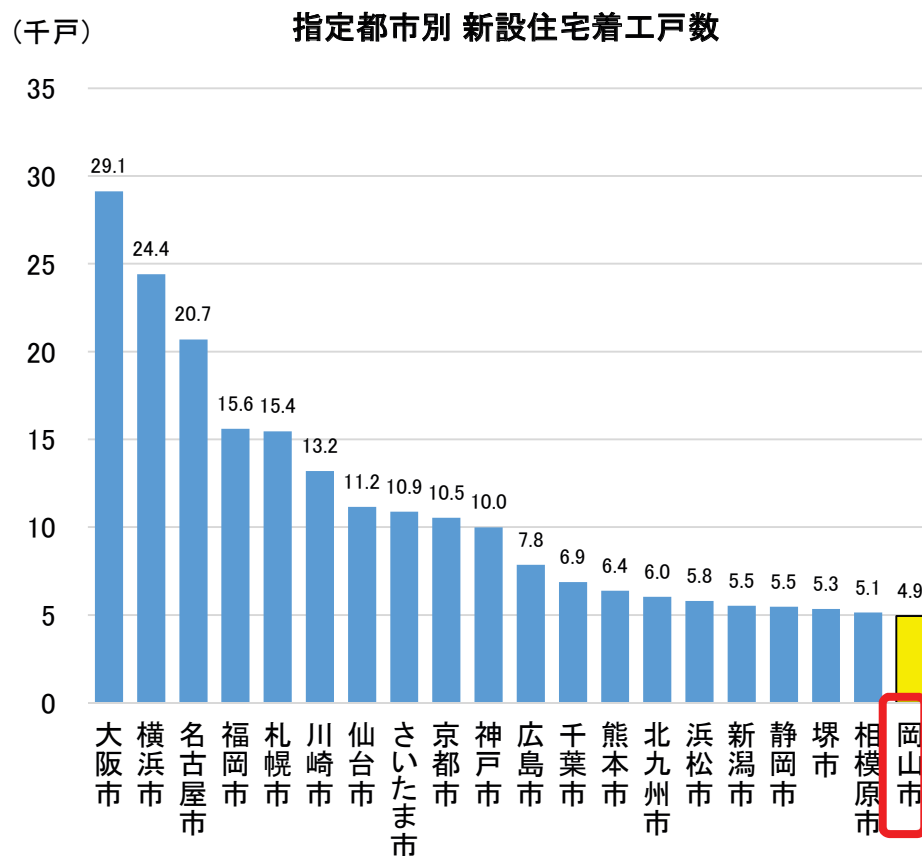
資料:総務省「国勢調査(H22)」



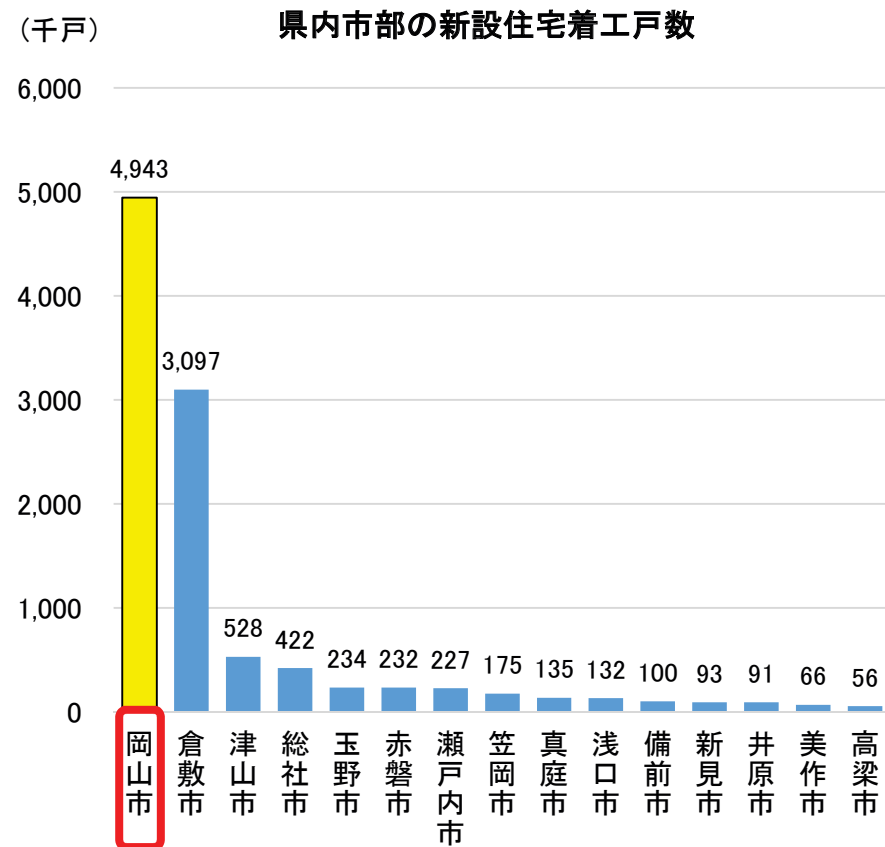
資料:総務省「住宅・土地統計調査(H25)」

岡山市の新設住宅着工戸数

○岡山市の新設住宅着工戸数は4,943戸であり、指定都市の中で、最も少ない。
○岡山県内の市では、岡山市が最も多い。



資料: 国土交通省「住宅着工統計(H26)」

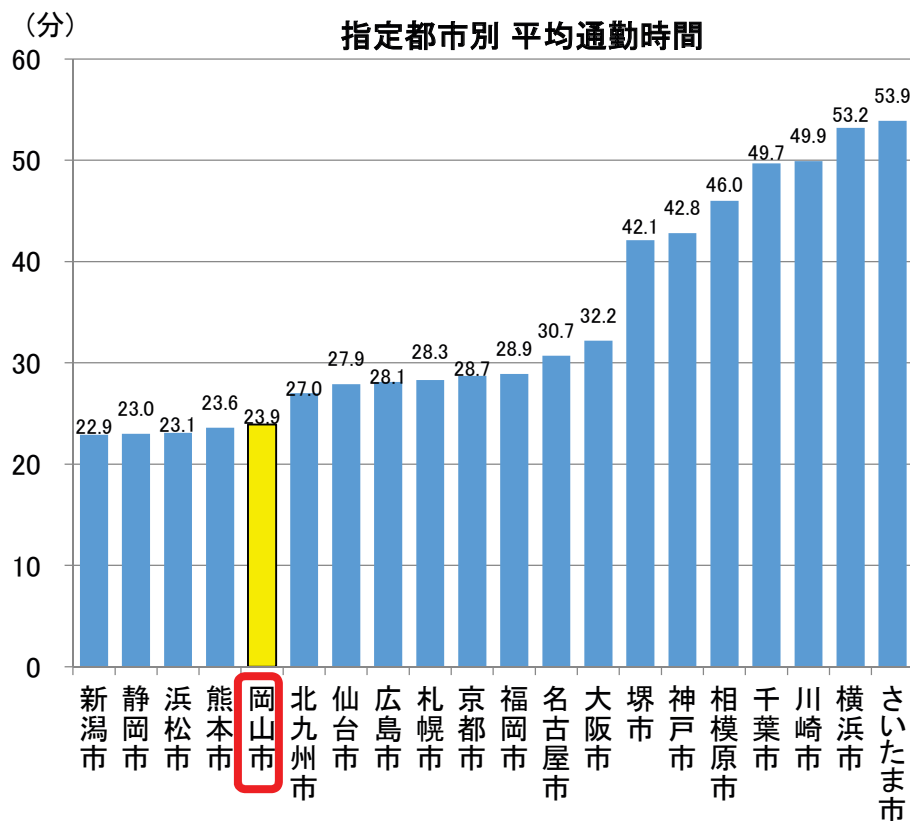


資料: 同左

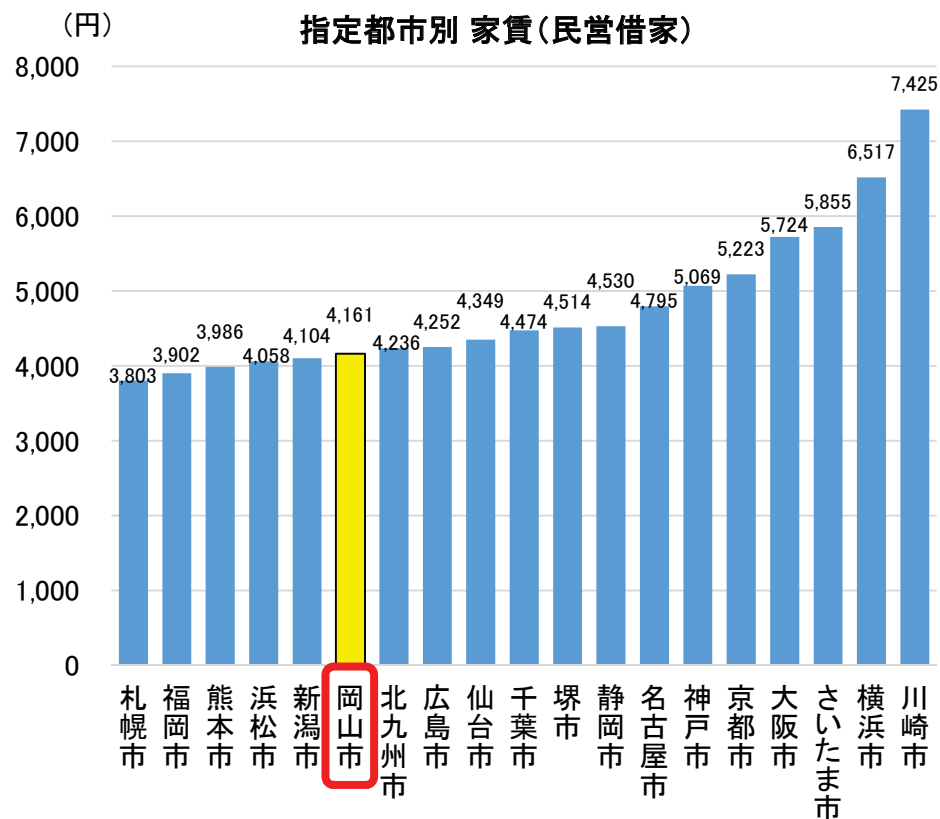
指定都市別 平均通勤時間、民営借家の家賃

○岡山市の平均通勤時間は23.9分であり、指定都市の中では、新潟市、静岡市、浜松市、熊本市に次いで5番目に少ない。

○岡山市の民営借家の1か月・3.3平方メートルあたりの家賃は4,161円であり、指定都市の中では、札幌市、福岡市、熊本市、浜松市、新潟市に次いで6番目に低い。



資料：総務省「住宅・土地統計調査(H25)」

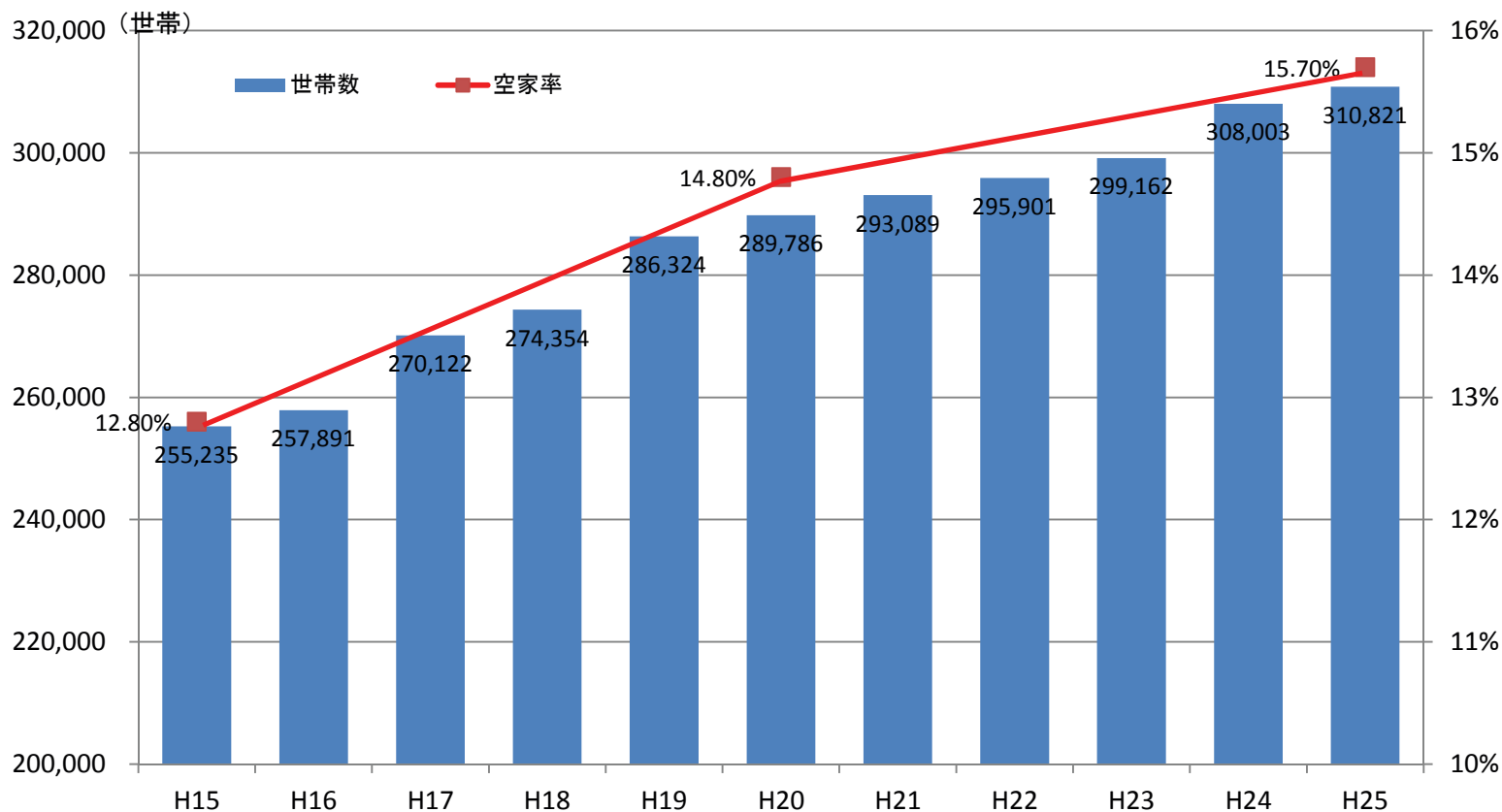


注：相模原市を除く

資料：総務省「小売物価統計調査(H25)」

岡山市の世帯数及び空き家率の推移

- 岡山市における総住宅数に占める空き家の割合(空き家率)は一貫して上昇傾向にある。
- 平成25年度の調査結果では、全国平均が13.5%に対し本市は15.7%と、約2ポイント高い状況にある。



資料：(総務省)住宅・土地統計調査及び岡山市調べ